

「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム採択
短期大学士力養成のための具体的実践としてのキャリア教育の推進
最終報告書

目 次

はじめに

1. 取組の概要

1. 1 取組の趣旨・目的
1. 2 全体概要
1. 3 取組体制

2. 取組の実施結果

2. 1 入学前導入教育
2. 2 新入生体験学習研修
2. 3 短大ポートフォリオの運用
 - (1) eポートフォリオシステムの概要
 - (2) 週間ポートフォリオ
 - (3) 学期ポートフォリオ
 - (4) 達成感ポートフォリオ
 - (5) キャリアポートフォリオ
 - (6) 教職員用キャリア教育推進ポートフォリオ
 - (7) ポートフォリオについての調査結果
 - (8) 達成感ポートフォリオのフィードバック
 - (9) ポートフォリオ各種マニュアル
2. 4 ライフデザイン学科の体験研修
 - (1) 国内研修
 - (2) 海外研修
2. 5 伝統文化の講演，こころの講演
2. 6 「自己の探求」プログラム
2. 7 キャリアマインド喚起プログラム，各種資格・就職対策講座
2. 8 社会人基礎力診断
2. 9 こども保育学科の就職先訪問調査
2. 10 こども保育学科卒業生の体験録
2. 11 キャリアアドバイザーとの面談・求人開拓
2. 12 合同報告会

(資料)

- ① 調書
- ② 学生配布用リーフレット
- ③ 合同報告会ポスター
- ④ 合同報告会発表資料
- ⑤ キャリア教育学会発表資料

あとがき

2. 取組の実施結果

2. 1 入学前導入教育

(1) 目的

キャリアマインドを喚起するプログラムの一環として「入学前学習レポート」を実施した。具体的には、入学後に学習する各分野のテーマに関連する情報に触れることにより、自らのキャリアを考える第1歩とすることを目的とする。さらに、レポートを書くことにより文章力の養成の出発点とし、初年次導入教育へのスムーズな移行を図ることも期待している。

(2) 実施内容

具体的には、分野ごとに選択したテーマに関連のある新聞記事を読み、レポート（600字以上 800字以内）を書く、というものである。提出されたレポートは添削を行い、その結果を、ライフデザイン学科においては「ライフデザイン総論」、こども保育学科においては「基礎演習」という初年次導入教育科目において活用する。

分野ごとのレポート課題

平成21年度と22年度の分野ごとのレポートの課題は次のとおりである。

平成21年

①ライフデザイン学科

- ・ファッション・ブライダル：2009年度のファッションの傾向
- ・インテリア：家族が暮らしやすい家の間取り
- ・フード：健康を維持するための食事の取り方
- ・情報・ビジネス：ネット社会と企業倫理
- ・トラベル：現代の観光の抱える問題

②こども保育学科

- ・保育：幼児の英語教育

平成22年度

①ライフデザイン学科

- ・ファッション・ブライダル：ファストファッション
- ・インテリア：子育てにやさしい住まいと環境
- ・フード：体にいいランチ
- ・エコロジー：食品リサイクル
- ・エンターテイメント・ビジネス：CMと上方文化

②こども保育学科

- ・保育：野外保育

スケジュール

平成 22 年度のおおよそスケジュールは次のとおりである。

- ・ 10 月上旬：分野ごとのテーマ・キーワードの選定
- ・ 10 月中旬－1 月中旬：レポート課題作成
- ・ 1 月下旬－2 月上旬：問題冊子作成
- ・ 2 月中旬：レポート課題配布
- ・ 3 月中旬：レポート提出締め切り
- ・ 3 月中旬－4 月中旬：添削作業
- ・ 4 月下旬以降：初年次導入科目でのレポートの活用

(3) まとめ

平成 21 年度実施分について実施結果をまとめておく。

提出状況

レポートの提出率は、ライフデザイン学科が 99%、こども保育学科が 92%、全体で 97%であった。

返却後の指導

提出されたレポートは添削の後 5 月中に学生へ返却された。ライフデザイン学科では返却から 2 週間後に再提出させアンケートを実施した。こども保育学科では返却后感想を書かせた。

学生の反応

① ライフデザイン学科

ライフデザイン学科では添削指導後アンケートをとった。その結果のいくつかを示す。図 2-1 は新聞記事を読んだためになったかどうかを聞いた結果である。「ためになった」、「ややためになった」で 81%になる。入学前に当該学習分野に関連した新聞記事を読むという課題を課したことがキャリアマインドの喚起に役立ったことを示している。

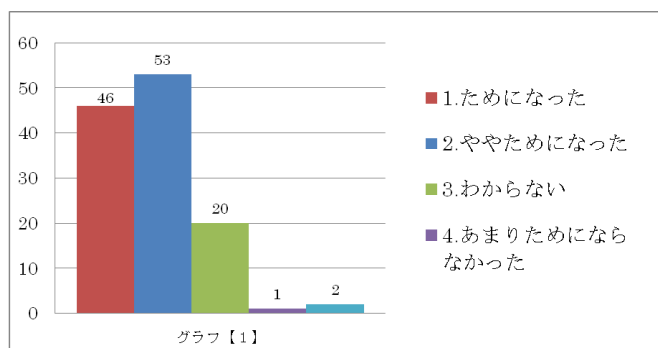


図 2-1 新聞記事を読んだためになったか

図 2-2 は添削指導がためになったかを聞いた結果である。「ためになった」、「ややためになった」で 84%になり、文章力育成の点でも効果があったことを示している。

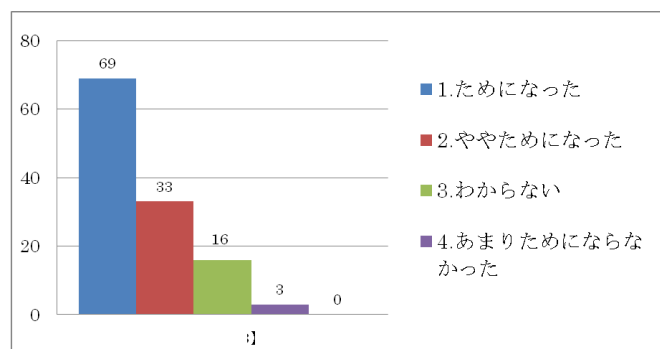


図 2-2 添削指導はためになったか

再提出によってどれほど改善したかを調べたものが図 2-3 である。教員の評価によると「改善している」が 43%であり、学生の自己評価だと「改善した」が 37%である。また「やや（少し）改善している」も含めると、教員評価 90%、学生自己評価 91%となり、文章力育成の点では入学後もう一度書き直させるというのはさらに有効であることを示している。

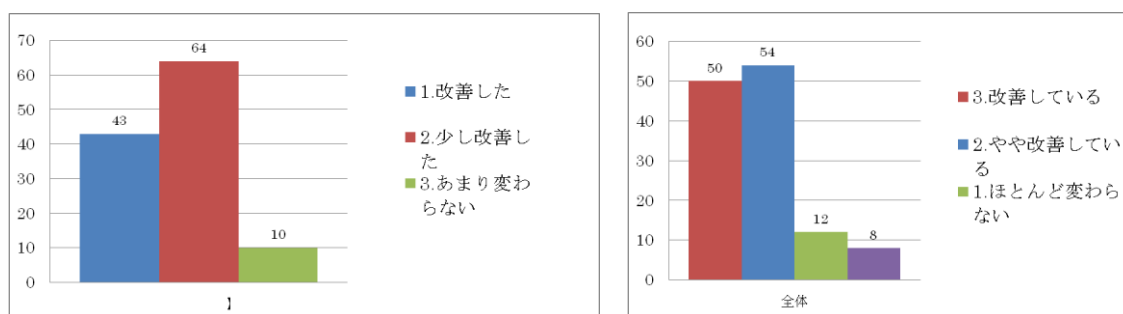


図 2-3 再提出によって改善したか：学生自己評価（左）、教員評価（右）

②こども保育学科

こども保育学科では提出レポートを返却した際、感想を書かせた。そのいくつかを紹介する。いずれも添削指導が有効であることを示している。

感想 1: 添削シートを読んで、「こういう表現をしたらいいのか」と気付かされる部分が多くありました。大学の入学前に書いたレポートなので言葉の使い方が正しくできていないと思いました。添削シートの内容がとても分かりやすくて、自分が次、同じ内容でレポートを書くならよりよいものを書けるのではないかと思います。

感想 2: 改めて読んでみるとやはり自分の意見に対する説得力が足りていないと思いました。

もう少し自分の考え・こうした方が良いのではないかという提案に対するより具体的な例などを書けていれば良かったのかなと感じました。また、文章の流れに関しても、添削シートに書かれていた流れの方がわかりやすく、自分の考えも伝わりやすいなと思いました。

感想 3: 自分が書いた小論文を改めて読んでみると、字数に気を取られすぎて、少し説得力に欠けていると思いました。また、気付かないうちに話し言葉を使っていたので、話し言葉と書き言葉の違いをしっかりと理解して、使い分けることができるようになりたいと思いました。

2. 2 新入生体験学習研修

(1) 目的

本研修には、大きく分けて4つの目的を持たせている。

まず、一つ目は、入学して間がなく、心細い日々を過ごしている新入生に対して、教職員や2年生の学生リーダーが、その不安を取り除き、充実した学生生活を送れるきっかけづくりとなる、友人づくりをサポートすることにある。

二つ目は、研修先のホテルのスタッフの力を借りて、ウェディングの模擬体験を行ったり、ゲストの送迎、ベッドメイキングなどホテルスタッフの仕事内容を体験したり、厨房を見学し、パンづくりを体験したりと、自分の将来の仕事を実際の職場環境に接することで、入学時より、卒業後の自分をイメージし、短期大学の2年間でどのように過ごせばいいのかを、自分自身で考えるきっかけとすることである。

三つ目は、建学の精神にちなんだプログラムを通して、建学の精神や自校史を考える契機とすることである。

四つ目は、ホテルや学内で体験できない作陶の経験を、日本六古窯の一つである丹波焼立杭陶の里で行い、手作りの面白さを体験することである。

以下にその細目を紹介していく。

(2) 実施内容

1日目：平成22年4月9日(金)

8:45	集合
9:00	出発
12:30	研修先ホテル(“ブルーリッジホテル”兵庫県豊岡市日高町)着
12:45	ホテルにて昼食
13:30~14:30	クラスミーティング
14:45~15:45	3クラス合同ミーティング
16:00~17:30	ホテル内での体験研修
17:30~18:30	部屋割り私物荷物解き
18:30~20:30	夕食および懇親会
20:30~23:00	入浴および自由時間
23:00	消灯・就寝

2日目：平成22年4月10日(土)

6:30～ 7:30	朝食
7:30～ 8:20	部屋の片づけ・身づくろい
8:20～ 9:20	前日体験研修発表会
9:40～10:00	ホテル玄関にてクラス写真の撮影
10:00	ホテル出発
12:20	立杭陶の里（兵庫県篠山市今田町）着
12:30～13:10	昼食
13:10～14:45	作陶体験研修
14:45～15:15	陶の里内丹波焼美術館鑑賞・散策・自由時間
15:20	陶の里出発
17:00	大学到着・解散

(3) 結果

1日目

4月9日、研修先ホテル到着後、1時間、各クラス(12～13人)に分かれクラスアドバイザーと自己紹介や時間割の組み方などのクラスミーティング・オリエンテーションの時間をもち、未だクラスのメンバーの名前もわからない、また、高校までとは違う大学での学びの方法などの不安な精神状態を解消する時間を設定し、この先の研修の成果を最大限引き出すためのウォーミングアップの時間を持った。

次いで、硬さがとれたところで、3クラス合同(36～39人)のミーティングを設定した。ここでは、学生リーダーと呼んでいる上級生の2年生が2名ずつ参加し、このミーティングをリードしていく。まず、この1年間の自らの学生体験を話してもらい、最も年齢・境遇の近い先輩からの話に耳を傾けることにより、学生生活の不安感を解消する。また、後半には、学生リーダーが企画したクラス対抗のゲーム大会などもあり、クラスの団結が一気に高まった。

この3クラス合同ミーティング終了後、予め振り分けておいた以下のような、ホテルスタッフ協力による1時間半の体験研修に入った。

・ホテルスタッフ体験研修

ゲストの送迎、ベッドメイキングなどホテル内の様々な仕事を体験した。

・ホテルブライダル体験研修

ホテルでのウェディングの実際を、ホテル内の式場や教会を借りて模擬体験した。新婦役の学生は本学から持ち込んだウエディングドレスを着用し、新郎役はホテルのスタッフの方に担当いただいた。

- ・ホテルフード体験研修

ホテル専属のシェフによるホテルの厨房の様子やどのような順番で料理を調理しているのかなどの説明後、パン作りの研修を行った。

- ・フィールドワーク体験研修

研修先は、非常に古い火山の噴火で形成された高原であり、幾つもの滝があったりなど地形も植生も特徴がある。それらを地元の研究家に説明を受けながらフィールドワークを体験した。これは環境問題を考える契機ともなった。

- ・スケッチ体験研修

研修先のホテルの周囲は、高原の自然そのものであり、それらを本学の教員がどのように描き留めるか指導した後、実際にスケッチを行い、相互批評を行った。

- ・デジカメ体験研修

プロのカメラマンによるデジタルカメラの体験実習を行った。また、就職写真の撮影の際の助けになるメイクアップ実習も行った。

夕食兼懇親会は、フード分野の研修やテーブルマナーの研修も兼ね、ホテルのシェフより、料理の説明やマナーの話をしてもらった。また、懇親会は2年生の学生リーダーが企画・実施し、本学の建学の精神や歴史を題材としたクイズ等を行った。

2日目

4月10日、朝食では、1日目のホテルフードの体験研修の際、学生自らが作ったパンを全員で試食した。

昨日体験したそれぞれの研修内容を、全員の体験とするため、各研修を体験した者の中から2名が自主的に発表者になり、研修内容(学生リーダーや教職員がデジタルカメラで記録しておいたもの)をパワーポイントを用いて説明し、体験のまとめと感想をお互い発表した。

バスで立杭陶の里まで移動し、作陶の体験研修に入る。まず、日本六古窯の一つである丹波焼の説明を受け、作陶の手順を教わり実習に入る。本学のある京都は清水焼の地元である。作陶は、ものづくりの基本でもあり、また、土に直に触れることによる精神的喜びは他に代え難い。その意味でもこの研修場での体験は重要である。

初め乗り気のしない学生も、土に触れてみるとその気持ちよさに夢中になり、思い思いの作品作りに没頭するようになる。

以上が、2日間の研修内容である。

(4) 学生研修レポート

以下に、学生の研修報告を数例あげ、この研修の成果の検証とする。

学生A

新入生の研修の初日は、クラスミーティングと3クラス合同ミーティング。3クラス合同ミーティングは、学生リーダーさんの紹介からスタートです。先輩が親睦が深まるように考えてくれたゲームはすごくユニークなものでした。伝言ゲームや絵しりとり、ジェスチャーゲームは本当に久しぶりで、楽しかったです。みんなとの距離も近づいたと思います。リーダーシップを発揮しながら、私たちを楽しませてくれた先輩たちを見習いたいと思いました。

体験研修のフィールドワークでは、桜と滝を見ました。ホテルの近くの地域に咲く桜は、すべてソメイヨシノ。桜は普通60年で枯れるのに、地域の人たちの頑張りで100年生きている桜が見られて感動しました。滝も見ました。自然がいっぱいできれいだと思っていたけれど、よく見てみるとごみが捨ててある所もありました。案内をしてくれたボランティアの人が山にあるごみは足場が悪くてごみ掃除が大変だと言っていました。こういう体験で環境問題やごみ問題について改めて考えることができました。

2日目の一番の思い出は、立杭陶の郷での作陶です。作陶体験は初めてであまり上手にできなかったけれど、みんなとワイワイしゃべりしながらやったので本当に楽しかったです。研修の始めよりみんなと自然に話すことができ、友達もたくさんつくることができました。新入生研修があって本当によかったです。

学生B

行く前までは、友達もあまりできてなくてクラスの人たちの名前も知らない状況で不安いっぱい、「行きたくないな」と思っていたけれど、実際に行ってみるとクラスの子と話さないといけない状況におかれたりして話す機会が増えました。だんだんクラスの子の名前を覚えたり、メールアドレスを交換したりと交流することができ、安心しました。

ブライダル模擬結婚式では、自分の夢はやはりこの仕事だと確信が持てました。人の新しい人生のスタートのお手伝い出来る素晴らしい仕事だと改めて思い、自分を奮い立たせました。

陶芸の体験は初めての事で少し不安とドキドキで挑みました。始めてみると、土の手触りを楽しむ一方で、自分の思い通りの形になかなかできず挫折しそうになりました。それでも何とか不恰好ながらもお茶碗と湯のみを作り上げることができました。陶芸を通して集中力の大切さと物を作る楽しさを知りました。焼き上がりが楽しみです。

この研修旅行の2日間はこれから始まる新しい学生生活の不安を楽しみへと変えてくれました。これから2年間、短いけれど濃い、濃い2年間にしたいと思います。

学生C

私のクラスは、入学してからすぐに仲良くなれました。研修旅行もとても楽しかったです。このクラスは、いろいろな地方から来ている人が多いのでクラスミーティングのときはいろいろなことが知れたし、みんなの特技や趣味、夢などが知れてとてもよかったです。3クラス合同ミーティングのときも私たちのクラスは団結力がすごくて、すごくチームワークがいいなと思いました。「本当に入学式で知り合ったの？」と思うくらい仲がとてもいいなと実感しました。

ホテルに着いて体験実習のときは、私はデジカメでした。私はミーティングのときに体力を消耗してしまってとても疲れていたのを静かにしていました。しかし、だれも何もしなかったのが、最初は仕方なくプロのカメラマンさんに写真を友達と撮ってもらったり撮ったりしました。やっていくうちに楽しくなりテンションもあがり、メイクさんに友達がメイクしてもらっているところを真剣に見ていろいろ教えてもらいました。やっぱりメイクをしているところを見たり教えてもらったりするのは楽しいと思いました。私と友達がみんなの前で体験したことを発表することになってしまいました。みんなの前にたって発表することは嫌いではないのですが、みんなの視線が集まってとても緊張しました。けれどもたまたま、トイレで会った人に「発表おもしろかったよ」といわれて素直にうれしかったです。

そして最後の作陶学習。そのとき作り方を説明してくれた方がとても親切でした。意外に硬くてきれいな形にするのは難しかったです。けれど、こういう体験は今後できないかもしれない、とても貴重なものだと思います。私はこの研修旅行を通じて友達もできました。クラスの友達との交流がやっぱり一番多かったし、一泊一緒にいたら、だいたいの性格も知れて、よかったと思っています。

これからもっとみんなと一緒にいろいろなことをしたいと思うし、もっともっと仲良くなっていきたいと思います。

学生D

私は、研修旅行ですごく良い体験をさせていただきました。

ブライダル体験を選択し、模擬結婚式をさせていただくことができました。ドレスを着させていただいたとき、初めてのことなので着方がわからず戸惑いました。着替えてからもドレスの裾を踏んでころんでしまいそうで怖かったです。そして、バージンロード、指輪の交換…すごく緊張しました。＼模擬、結婚式だけど、とても感動しました。ブライダルプランナーになりたいという気持ちが、前よりも強くなりました。ドレスを着させてもらえるのが二人だけだったけれど、立候補して良かったです。積極的に行動してよかったですと思いました。

体験実習の次の日の発表も、一緒にドレスを着させていただいた子と発表しました。すごく緊張したけど、大勢の人の前でプレゼンテーションする機会をもてて、よかったと思います。

貴重な体験をさせていただき、スタッフの方や先生方に本当に感謝しています。ありがとうございました。

もうひとつ、私が研修旅行で思い出に残ったことは、何より友達ができたことです。最初は友達すらできるか、すごく不安でした。それなのに今では毎日一緒にいるし、誰か一人でも欠けていると、すごく寂しいです。いつも一緒に行動している友達とは、「まだ入学してから一カ月も経ってないって感じがしない」とよく話しています。そこまで想える人と出会えて本当に嬉しいです。

学生E

この1泊2日の研修で私はたくさんのことを得ることができました。ホテルでは先輩方が楽しいゲームを考えて下さって、同じクラスの人とより仲良くなることができましたし、話したことがなかった人とも仲良くなることができました。こういった機会をつくって下さった先生方や先輩方に感謝です。

体験学習ではホテルスタッフをさせて頂きました。まず、ホテルの方にお話を聞いてホテルの中にもたくさんの仕事がある事を知りました。みんなが1番憧れる仕事は、やはりフロントです。しかしフロントはその「ホテルの顔」といわれるだけあって簡単に任される仕事ではありません。憧れの仕事というのは、それだけ大変なものなんだと改めて思いました。私は今回ドアスタッフを体験させて頂きました。ドアスタッフはドアスタッフですごく大変で重要なお仕事でした。冬は寒く夏は暑い、そんな中で最高のおもてなしをするドアスタッフは本当に格好良いと思えました。また、ベッドメイキングの体験もさせて頂いてこれからの自分のためにもなりました。

陶の里では、すごく久々に図工をした気分で、友達とわいわい楽しくすることができました。私は親に湯のみを作ったのですが、全然センスがなくて残念な感じになってしまいました。終わった後に皆の作品を見て回ったのですが、皆すごく上手で羨ましくなりました。その後、友達とアイスクリームを食べたりお土産を見たり新しい友達を作ったり、とても楽しい時間でした。

この2日間で新しい友達もたくさんできたり、色んな事も見たり触れたり、体験させて頂くことができたり、これからの学校生活がとても楽しみになりました。

2.3 短大ポートフォリオの運用

(1) eポートフォリオシステムの概要

本学では、光華 navi と名付けられた学生ポータルシステムを構築し、教務関係の諸手続きや各種情報の照会などの機能を持った総合情報処理システムを全学的に運用している。今回の取組では、この光華 navi システムに機能追加するという形で、eポートフォリオシステムを構築した。本学の eポートフォリオシステムは、「週間ポートフォリオ」「学期ポートフォリオ」「達成感ポートフォリオ」「キャリアポートフォリオ」と名付けられた4つのポートフォリオから構成されている。初年次教育のなかにポートフォリオリテラシー教育を組み込み、初年次科目の授業計画に沿って、4つのポートフォリオが運用された。

これら4つのeポートフォリオを包含する光華 navi の全体概念図を図2-3-1に示す。



図 2-3-1 光華 navi の全体概念図

eポートフォリオシステムのトップページ画面を図2-3-2に示す。



図 2-3-2 eポートフォリオシステムのトップページ画面

以下、各ポートフォリオの内容について説明する。

(2) 週間ポートフォリオ

「週間ポートフォリオ」は、学生自身が PDCA サイクルを回しながら、学生生活を計画的に過ごす習慣をつけさせることを目的とする。週間ポートフォリオの画面は、目標設定と達成度、1週間の行動履歴、写真添付、1週間の振り返り、教員コメント画面から構成される（図 2-3-3）。

1週間の行動履歴

戻る

画面下へ

目標

今週の優先順位(1)
(全角100文字)

達成度評価 達成できた ほぼ達成できた あまり達成できなかった 達成できなかった

今週の優先順位(2)
(全角100文字)

達成度評価 達成できた ほぼ達成できた あまり達成できなかった 達成できなかった

今週の優先順位(3)
(全角100文字)

達成度評価 達成できた ほぼ達成できた あまり達成できなかった 達成できなかった

目標と達成度

行動履歴

日付	出席情報					予習・復習・課題	部活・バイトなど	食事			睡眠 (H)
	1	2	3	4	5			朝	昼	夜	
03/07 月								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
03/08 火								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
03/09 水								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
03/10 木								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
03/11 金								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
03/12 土								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
03/13 日								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

アップロード

添付ファイルは登録されていません

写真について (全角100文字)

写真添付可
「今週の一枚」

1週間の振り返り

この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など (全角100文字)

日常生活で困っていることなど (全角100文字)

教員コメント

コメント欄

【短大 テス子】
未登録コメントです

画面下へ

一時保存 投稿

図 2-3-3 週間ポートフォリオ画面

学生は、週の初めに、自分自身で 3 つ目標を決め、週間ポートフォリオに入力する。週末、それぞれの目標をどの程度達成できたかを自分自身で評価するとともに、1週間の振り返りを文章にして入力し、投稿する。週間ポートフォリオへの投稿は、パソコンばかりでなく、携帯電話からもできるように設計した。また、携帯電話のカメラで撮った写真をアップロードし、ポートフォリオ画面に画像を表示させることができるようにした。そうす

ることで、学生は、パソコンが手元になくても、携帯電話を使って手軽に入力ができるようにした。

学生と教員とのやりとりは、eポートフォリオシステム上の画面で行われる。学生は、1週間単位でその週の目標を立て、日々の行動履歴をつけ、週の終わりに目標達成度を自己評価するとともに、その週を振り返っての反省点や現在困っていることなどを書き込み、投稿する。投稿された内容は、初年次科目を担当するクラスアドバイザーの教員と共有される。クラスアドバイザーの教員は、毎週、学生の投稿に対してコメントを返し、学生の「省察」「気づき」を通しての学び、成長を支援するものである。

週間ポートフォリオの教育上の効果を検証することを目的に、学生アンケート調査、クラスアドバイザーの教員を対象にしたアンケート調査、及び、クラスアドバイザーの教員座談会を実施した。調査の目的、方法、結果については、後述する。

(3) 学期ポートフォリオ

「学期ポートフォリオ」は、初年次後期以降に運用される。前期に「週間ポートフォリオ」で習慣づけたPDCAサイクルを、学期という、さらに長い時間単位で回すことを目指すものである。学生は、学期初め、半年間の決意表明として、学期の自己目標を設定し、クラスアドバイザーの教員と共有する。学期末、学生自身がその目標の自己評価、総括を行い、それに対して、教員がコメントを返す。学生が、学期単位で目標を立て、それを振り返り、評価する、というPDCAサイクルを回し、それに対して教員が適宜アドバイスすることで、学生の成長を後押しするものである。

学期ポートフォリオの学生画面例を図2-3-4に示す。

e-ポートフォリオ	
学習・生活・成長過程を記録していきます。	
タイトル	<input checked="" type="checkbox"/> 学期ポートフォリオ 後期の達成度評価
投稿日 <small>必須</small>	2011/01/18 <input type="button" value="日"/>
後期の目標 <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="text"/>
(全角 200文字)	
達成度評価 <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できた <input type="radio"/> ほぼ達成できた <input type="radio"/> あまり達成できなかった <input type="radio"/> 達成できなかった
なぜそう判断しましたか <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="text"/>
(全角 200文字)	
後期の修学・生活状況において満足していること <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="text"/>
(全角 200文字)	
後期の修学・生活状況において改善すべきこと <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="text"/>
(全角 200文字)	
教員からのコメント	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="text"/>

図 2-3-4 学期ポートフォリオ画面

(4) 達成感ポートフォリオ

「達成感ポートフォリオ」は、学生が、各授業科目の「到達目標」に対し、学期が終了した時に、その科目の「到達目標」の何%を達成したと思うか、なぜそう思うのか、について自己評価するものである。学生は、自分が受講した科目全てについて、学期末に、各科目の受講を通して、自分が「何を修得したか」「何ができるようになったか」を振り返る。この振り返りを通して、各授業科目の到達目標を意識した「学び」を促すものである。

達成感ポートフォリオの画面例を図 2-3-5 に示す。

火曜 2限 T1135 [redacted] CSV ▶ 集計 ▶

回答率: 30/38 78.9%

学生一覧 [redacted] (回答済) ▼

印刷 ▶

達成感ポートフォリオ

表計算演習 I

1. 表計算ソフトについての基本的な操作が実践できる

100% 80% 60% 40% 20% 0%

自己評価の理由を200文字程度で書いてください

今まで知らなかったことを知れて良かった。使いこなせるようになりたい。

2. 表計算を用いた基本的な課題を自らの力で解決する判断力を身につける

100% 80% 60% 40% 20% 0%

自己評価の理由を200文字程度で書いてください

まだまだ分からないことがたくさんあるので、一人で使えるようになりたいと思った。

3. 絶対参照や簡単な関数を利用して、効率的な数式を作成できる

100% 80% 60% 40% 20% 0%

自己評価の理由を200文字程度で書いてください

絶対参照などが苦手だから、完璧に使えるようになりたい。

図 2-3-5 達成感ポートフォリオ画面

(5) キャリアポートフォリオ

「キャリアポートフォリオ」は、学生が自分史やイベント等に参加した体験など学生生活の記録をキャリアポートフォリオ上に記録として残し、蓄積させていくデータベースである。記録を積み重ねていくことで、自分の成長を感じ取り、目標や課題を見つけるきっかけにすることを狙いに行っている。学生が日記風には書き込みをする方法と、教職員があらかじめ設問を作成し、学生が回答する形の2通りの使い方ができるように設計されている。キャリアポートフォリオの活用の仕方については、初年次前期の授業のなかで説明を行った。学生は、あらかじめ画面上に用意された「自分史」「自分の強みの整理」「学生生活充

実計画」などのワークシートに入力しながら、自分自身の過去と現在を見つめ、日々の生活と将来をつなげて、現在の学生生活を充実して過ごすことの大切さについて考える機会が与えられた。

キャリアポートフォリオの画面例を図 2-3-6 に示す。

The screenshot displays three overlapping worksheets in a yellow-themed interface:

- 自分の強みの整理シート (Organizing My Strengths Worksheet):** Contains a title field, a required submission date field, and a list of prompts for reflecting on strengths, such as "小学生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか" (Looking back on elementary school, which subject did you like?).
- 自分史シート (My History Worksheet):** Similar to the first, it prompts reflection on middle school and high school experiences.
- 学生生活充実計画シート (Student Life Improvement Plan Worksheet):** Includes a title, submission date, and prompts for planning, such as "学生生活でやってみたいこと" (Things I want to do in student life) and "この1年間の目標(なりたい自分や実現したいこと)" (Goals for this year).

図 2-3-6 キャリアポートフォリオ画面

(6) 教職員用キャリア教育推進ポートフォリオ

教職員用キャリア教育推進ポートフォリオは、学生用 e ポートフォリオシステムの活用を支援するツールとして、授業の改善や学生支援の強化を目的として、教職員同士の間で情報交換・情報共有を進めるためのシステムである。インターネット上で教職員が一体となったコミュニティを設け、いわばネット上の「バーチャル職員室」を運営している。

本学では既に光華 SNS「Kocolony」という本学独自の SNS (Social NetWorking Service) を構築し、運用している。そこで、このバーチャル職員室はこの Kocolony のコミュニティの一つとして開設した。

このバーチャル職員室にクラスアドバイザーの教員やキャリア支援関係職員がコミュニティメンバーとして参加し、SNS の一般的な機能である「掲示板」などを利用して教職員間のポートフォリオを運用している。

この Kocolony のトップ画面を図 2-3-7 に、バーチャル職員室のコミュニティ画面を図 2-3-8 に示す。



E-mail

Password

次回から自動的にログイン
>ログインできない方はこちら

ログイン



京都光華女子大学SNSは
携帯からも閲覧できます。
<https://sns.koka.ac.jp/>



利用規約 プライバシーポリシー

図 2-3-7 光華 SNS「Kocolony」のトップ画面

The screenshot shows the 'Kocolony' community interface. At the top, there's a navigation bar with links like 'メンバー検索', 'コミュニティ検索', 'レビュー検索', 'マイホーム', '最新日記', 'ランキング', '設定変更', and 'ログアウト'. Below this is a search bar and a list of community options. The main content area displays a 'Community' card for 'キャリア教育職員室(短大)' with a heart icon. To the right, a table provides details about the community.

コミュニティ	
コミュニティ名	キャリア教育職員室(短大)
開設日	2010年03月10日
管理者	えっちゃん
カテゴリ	部FP9・部署
メンバー数	3人
参加条件	管理者の承認が必要
公開範囲	コミュニティ参加者へのみ公開
トピック作成	参加者のみ作成可能
コメント作成	参加者のみ作成可能
コミュニティ説明文	キャリア教育の質の改善を継続的に行っていくための情報共有コミュニティ。 短大GPに関する教職員がメンバーです。

Below the table, there are three member profile cards: 'ねえさん (1)', 'えっちゃん (1)', and 'Time^^(1)'. A link '全てを見る(3人)' is provided. At the bottom right, there is a link for '利用規約 プライバシーポリシー'.

図2-3-8 バーチャル職員室のコミュニティ画面

(7) ポートフォリオについての調査結果

e ポートフォリオシステムの一つである「週間ポートフォリオ」に焦点を当て、教育上の効果を検証することを目的に、学生を対象にしたアンケート調査、クラスアドバイザーの教員を対象にしたアンケート調査、及び、クラスアドバイザーの教員による座談会を実施した。

調査方法

各調査の実施時期、回答率/回答人数、調査項目は、以下の通りである。

I. 学生アンケート調査

実施時期：2010年7月21日から8月10日

回答率：74.9%

質問項目：「週間ポートフォリオに費やした時間」「行動履歴の記入や達成度の自己評価はあなたにとって有益だったか」「週間ポートフォリオを通じて目的意識が身についたか」「教員からのコメントはあなたにとって有益だったか」「あなたの学生生活は充実しているか」

II. 教員アンケート調査

実施時期：2010年7月30日から8月10日

回答人数：短期大学部クラスアドバイザーの教員10名(対象人数13名、回答率76.9%)

質問項目：「週間ポートフォリオに費やした時間」「週間ポートフォリオの実施に負担を感じたか」「教員コメントを書く上で工夫した点」「学生が設定した目標について感じたこと」「この取組を始めた頃と終了間近を比べて、学生たちに変化・成長が見られるか」

III. 教員座談会

実施時期：2010年9月21日 所要時間 1時間半

参加人数：短期大学部クラスアドバイザーの教員9名(対象人数13名、参加率69.2%)

質問項目：「教員コメントを書く上で工夫した点について、その具体例」「この取組を始めた頃と終了間近を比べての学生たちの変化について、変化の具体例」

結果

学生の週間ポートフォリオへの投稿率の推移を図 2-3-9 に示す。第 1 週から第 12 週までの全期間を通しての平均投稿率は 68.3%、最初の週と最終週を除いた第 2 週から第 11 週までの平均投稿率は 74.8% だった。

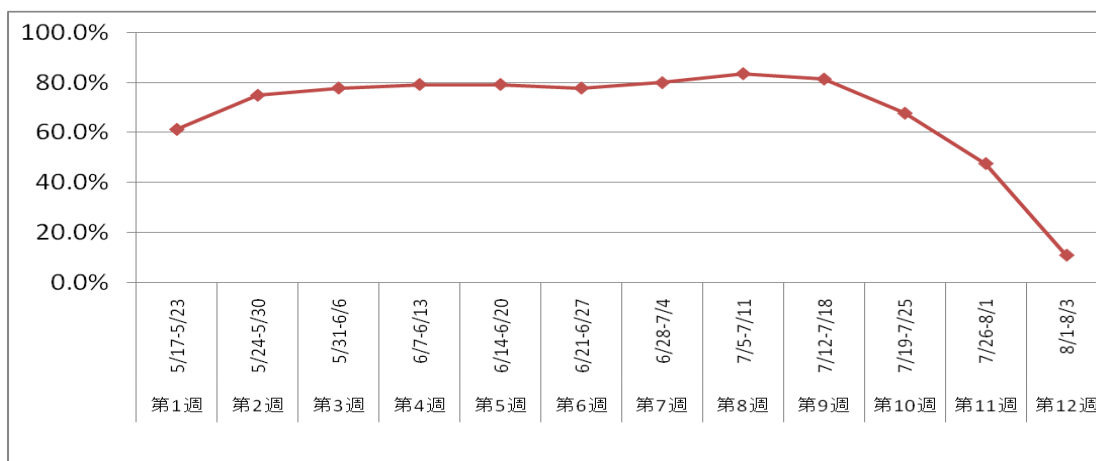
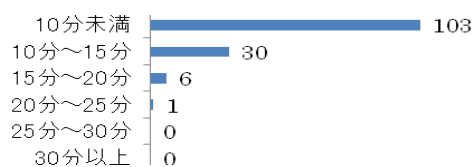


図 2-3-9 週間ポートフォリオの投稿率

以下、ポートフォリオについての調査結果を示す。

学生アンケート調査の結果によると、学生が「週間ポートフォリオに費やした時間」は、1 日あたり 10 分未満が 73.6%、10 分～15 分が 21.4%、15 分～20 分が 4.3%、20 分～25 分が 0.7% であった。1 週あたりでは、1 時間未満が 82.1%、1～2 時間が 12.1%、2 時間以上が 5.0%、無回答 0.7% であった (図 2-3-10)。

1 日あたりの平均的な時間



1 週あたりの平均的な時間

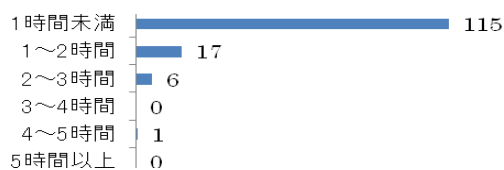


図 2-3-10 週間ポートフォリオに費やした時間

週間ポートフォリオの行動履歴の記入や達成度の自己評価は、自分を見つめ直し、自己評価を行うものであったが、これらの作成については、学生は「めんどくさい」と思いながらも、「有益だった」16.4%、「やや有益だった」40.0%と半数以上の学生が肯定的な反応を示した。(図 2-3-11)。

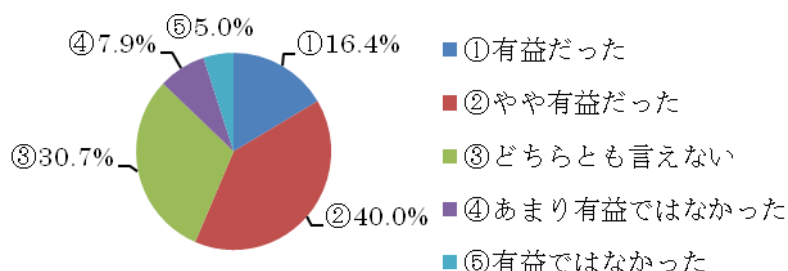


図 2-3-11 行動履歴の記入や達成度の自己評価は有益だったか

週間ポートフォリオを通じて、目的意識（日々、目標を持って生活しようとする）が身についたかどうかを学生に尋ねたところ、「身についた」という回答が16.4%、「やや身についた」という回答が41.4%であった。半数以上の学生が週間ポートフォリオによる効果を評価した(図 2-3-12)。

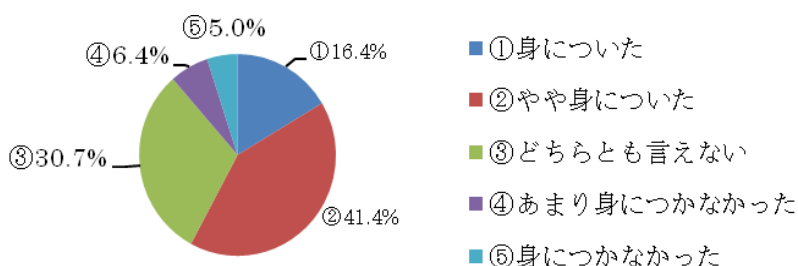


図 2-3-12 週間ポートフォリオを通じて目的意識が身についたか

「教員からのコメントが有益だったか」については、「有益だった」「やや有益だった」(45.7%, 37.1%)と多くの学生が肯定的に捉えていた(図 2-3-13)。

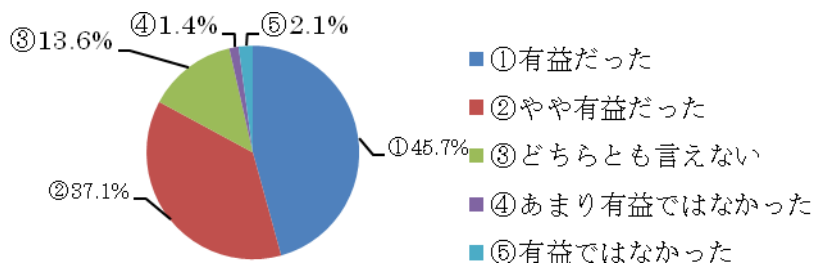


図 2-3-13 教員からのコメントはあなたにとって有益だったか

その理由を表 2-3-1、表 2-3-2、表 2-3-3 に示す。教員からのコメントが「有益だった」「やや有益だった」と肯定的に捉えた学生の理由では、「コメントをもらうことが嬉しかった」「コメントに励まされた」「元気がもらえた」「頑張ろうと思えた」「前向きになれた」「よいコメントをいただいた」「アドバイスがもらえてよかった」において出現数が多かった。

表 2-3-1 教員からのコメントが「有益だった」「やや有益だった」理由

理由	出現数
コメントをもらうことが嬉しかった	17
コメントに励まされた、元気がもらえた、頑張ろうと思えた、前向きになれた	15
よいコメントをいただいた、アドバイスがもらえてよかった	14
改善点がわかった、改善しようと思えた	8
質問に対して的確な返事をもらえた	7
適切な、納得のいくアドバイス・意見をもらえた	5
コメントを見るのが楽しみだった、おもしろかった	4
コメント・アドバイスが参考になった	4
コメント・アドバイスが為になった	4
気にかけてくれている、心配してくれているのが有難かった	4
毎週コメントが返ってきて、遣り甲斐があった	3
自分を客観的に見ることができた	2
先生とのコミュニケーションになった	2
生活管理のアドバイスがもらえた	2
コメントがあると書かなければという気にさせられた	2
先生に自分の事を知ってもらうのは良いことだと思う	1

表 2-3-2 教員からのコメントが「どちらとも言えない」理由

理由	出現数
見てない	2
普通	3
特に何かあったわけでもない	1
詳しくは書かれていなかった	1

表 2-3-3 教員からのコメントが「あまり有益ではなかった」理由

理由	出現数
見てない	2
特に意味はなかった	1
改善策をアドバイスしてくれる訳でもなかった	1

「あなたの学生生活は充実しているか」という質問に対して、「充実している」「やや充実している」と肯定的な回答をした学生は、77.2%だった（図 2-3-14）。

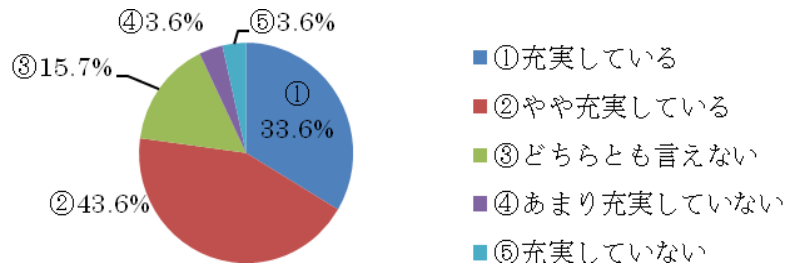


図 2-3-14 あなたの学生生活は充実しているか

教員アンケート調査によると、教員が「週間ポートフォリオに費やした時間」は、10人中7名が、1週あたり1時間未満、2名が1時間～1時間半、1名が3時間以上だった（表2-3-4）。週間ポートフォリオの実施に「やや負担だった」が6名、「あまり負担ではなかった」が2名、「負担ではなかった」が2名（表2-3-5）で、半数以上の教員が「負担を感じた」という結果だった。

表 2-3-4 週間ポートフォリオに費やした時間

1時間未満	7名
1時間～1時間半	2名
1時間半～2時間	0名
2時間～2時間半	0名
2時間半～3時間	0名
3時間以上	1名

表 2-3-5 週間ポートフォリオの実施に負担を感じたか

かなり負担だった	0名
やや負担だった	6名
どちらとも言えない	0名
あまり負担ではなかった	2名
負担ではなかった	2名

「教員コメントを書く上で工夫した点」について、教員アンケート、及び、教員座談会の結果をまとめたものを表2-3-6に示す。

表 2-3-6 教員コメントを書く上での工夫

項目	回答例
褒める	基本的に褒めるようにした。何か書いたら「よく書いた」と褒める。授業に出たら「よく出てる」という感じで。 学生自身が達成できなかったことを指摘するのではなく、できたことを褒める。
承認する	新入生の合宿研修で、陶器のお皿を作った学生がいたんです。本人はそれを結構気に入ってたんですが、出来上がったものを家に持って帰ったら、家の人に「何だ、これは、こんなもの捨てろ」みたいなことを言われ、がっかりして来たんです。私は、その子の作品を見て、いい感じだったんで、「よかったよ。家ではそう言われたかもしれないけれど、大事にしてください」って送ったら、その学生は、「そんなこと言ってくれるのは先生だけや」って。
共感する	共感する。「確かにそうだよね」って。「ほくもそうだよ」って。
励ます	検定で「自信がありません」とか。そうなったら、その後に、「頑張ってるね」って言う。励ましでも、毎回同じ言葉にならないように考えた。
ねぎらう	ちょっと、風邪で休んだりしたら、必ず、気を付けて、と言って。「ご苦労さん」という言葉をよく書きました。
寄り添う	「そばにいるよ」という感じは伝えられたと思う。あとで聞くと、予想以上に、先生のコメントを楽しみにしてくれていたことが分かり、学生さんと近づけたように思います。 学生からは、「いつも話しているみたいで安心できた」と言われました。 アドバイザーは理解してくれているという安心感を持たせることができたと思う。
相手に話しを合わせて	ワールドカップの時とか、選手の名前とか書いてくる。全然知らない選手でも調べて、ちゃんと「いい選手ですね」って返しました。話を合わせて。
丁寧な対応をする	一言で終わるのではなく、しっかり2行目までコメントを記入し、自分に丁寧な対応をしてくれているということを感じてもらえるようにした コメント欄で回答しきれない事柄は、直接会った時に「ポートフォリオの件ですが…」と話しかけるようにして、学生が充分答えてもらえない」という気持ちを抱かないように気をつけた。
否定しない、肯定的な言葉で	学生の頑張りを否定しないように、自分の考えを押しつけるのではなく、〇〇すれば？といった感じで意見を書いた。 肯定的な言葉でコメントするようにした
質問形で返す	質問形で終わるようにしたら、それに対して返ってくる、それでキャッチボールが成立する。書かれたことに対して、褒めるなり、「よかったね」とか「頑張ってるね」とか言った後、「睡眠時間が少ないけれど、大丈夫なの？」「ところでアルバイトは何をしてるんですか？」など、質問形で終わるようにした。
話し口調で	「大丈夫？」「いいinchやう？」というような話し口調で。できるだけ関西弁を使った。堅苦しい言葉は使わずに、です、ます調ではなく、なるべく話し言葉で書くようにした。
相手の個性に合わせて	相手の個性に合わせてコメントしました。 人によってそれぞれだから、どこまで言ったらいいのか、手探りで。

教員は、「褒める」「承認する」「共感する」「励ます」「ねぎらう」「寄り添う」「相手に話を合わせて」「丁寧な対応をする」「否定しない」「肯定的な言葉で」「質問形で返す」「話し

口調で「相手の個性に合わせて」など、コメントを書く上で様々な工夫をしていた。学生に「そばにいるよという感じ」を伝えて、学生の気持ちに寄り添い、「質問形で」「○○すれば？」といった感じで」提案をすることで、学生の気づきを促した。教員からのコメントは意図した通りに学生に受け取られたようで、「学生もこれを書いて怒られる、とか、審査される、とか、そう言う感じではなく、自然にやってくれたかなって感じ」「教員を身近な相談相手として感じてくれたことは、極めて重要なことであり、このポートフォリオの成果だと思う」という感想が寄せられた。

「学生が設定した目標」への教員の感想は、「目標を文字にして設定しただけでも、効果はあった」「行動ができなかったとしても、ポートフォリオに記入して、意識の確認をさせることは、必要なこと」「今週できなくても、目標を持たせて、トライさせることで、次週できれば、自信につながる」など、一定の効果があったという感想が寄せられた一方、「レポート作成や無欠席などは当たり前のこと」「学生が設定したものの中に、目標と呼べるものは少ないと感じた」という指摘もあった。そして、「学生が設定した目標」の変化については、最初の頃は、「達成可能な目標」「生活や態度に関するもの」が多かったが、後半は、「前期試験や検定試験を迎えて、目標が明確に変わっていった」「だんだん大学生活に慣れてくると、こういう風になりたいから、こういう風に毎日を送っている、というように、それなりの内容になってきた」「将来に向かって考えるようになった」などの変化が挙げられていた。

「この取組を始めた頃と終了間近を比べての学生たちの変化」については、「目標を立て、振り返るという作業を苦にしなくなった」「自分自身の癖や反省点等を人から言われて気づくのではなく、自ら認識できるようになった」「週間ポートフォリオをするにつれ、かなり重要な相談をする学生が増えてきた。学生が教員を身近な存在として意識するようになった」という意見があった一方、「計画性や言葉で表現することについての成長は見られると思うが、ポートフォリオのおかげなのか、全体的な指導の成果なのか、判断がつかない」との意見もあった。

考察

週間ポートフォリオの取組は、多様なニーズを持って本学に入学してきた新入生一人ひとりが、ポートフォリオを活用し、PDCA サイクルを回しながら、高校から短大への移行期を乗り越え、本学で充実した学生生活を送ることを支援するものであった。

週間ポートフォリオで学生が毎週設定した目標については、時間の経過とともに、徐々に目標の内容やそのレベルは変化していったが、教員が期待するレベルには届いていなかったという指摘があった。一方、他の教員からは、目標を文字にして書くことで「目標を持つ」ことを意識させただけでも効果があったという意見もあった。調査結果からは、本取組を通して、学生が、PDCA サイクルを回す力を確実に身につけることができたかどうかは明らかではない。教員自身も学生に PDCA サイクルを回す力を身につけさせることの

意義を認識し、その意義や必要性について学生に徹底的に伝えていくこと、学生が設定する目標レベルを引き上げていくための教育スキーム作りが求められるであろう。

一方、週間ポートフォリオに関わったクラスアドバイザーの教員たちは、学生へのコメント書きにやや負担感を抱きながらも、コメントに様々な工夫をすることで、当初懸念していた「監視されているような感覚」を学生に抱かせることを回避し、学生に安心感を与えて、教員と学生との心の距離を縮めた。アドバイザーの教員たちから学生へ毎週送られるコメントは、学生に好意的に受けとめられ、学生のやる気や自己肯定感の向上に寄与した。初年次の学生と教員との間の信頼関係を築いていく上で、週間ポートフォリオが効果的に運用されたことが明らかになった。

今後は、学生と教員との双方向のコミュニケーションツールとして、eポートフォリオの機能強化を図りながらも、アドバイザーの教員の負担感を軽減させるための方策の検討が必要になるであろう。

eポートフォリオの更なる活用施策としては、初年次にポートフォリオへの記述に慣れた2年生を対象に、学生同士がポートフォリオに書き込んだ内容をお互いに見せ合い、コメントし合うというような「チーム学習」でのeポートフォリオの効果的な活用が考えられる。それを実現するためにも、教員同士が学び合うFDなどの組織的な取組も求められる。

(8) 達成感ポートフォリオのフィードバック

達成感ポートフォリオは、学期末に学生がカリキュラム・マップにある各科目の到達目標の達成度を自己評価するものであり、到達目標型教育の重要な要素となる。というのも、学生が何をできるようになるかを重視するためには、学生自身が何をできるようになったと自覚しているかを把握することが重要だからである。

さらに達成感ポートフォリオの重要なところは、達成感ポートフォリオの結果から、カリキュラム・マップを媒介とすることにより、ディプロマ・ポリシーの達成度の自己評価を定量化することができる点にある。

図2-3-15は達成感ポートフォリオ実施後、教員にフィードバックされた担当科目の到達目標の達成度の学生自己評価の例である。これは自らが設定した到達目標がどの程度達成されたのかを知る上での基本的なデータとなるものである。

到達目標達成度自己評価

授業コード: T1127 授業名: [REDACTED]

担当教員: [REDACTED]
受講者数 107 名

到達目標1: コンピュータの5大機能と対応する装置を説明できる

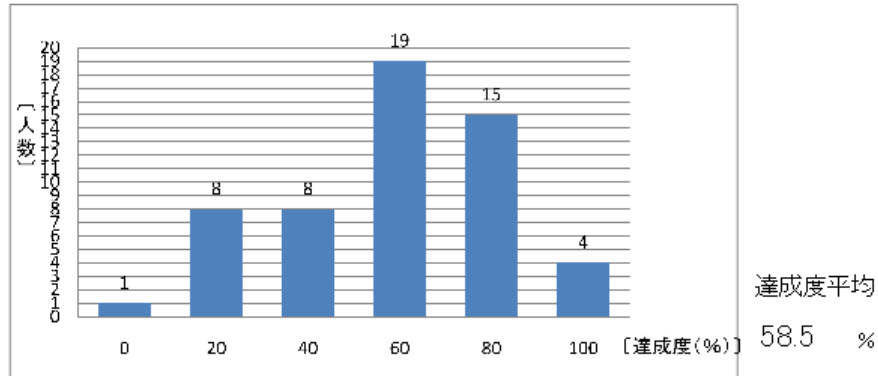


図 2-3-15 教員にフィードバックされる科目の到達目標の達成度の学生自己評価

さらに学科にはディプロマ・ポリシーの各項目の達成度の学生自己評価もフィードバックされる。図 2-3-16 はライフデザイン学科の例、図 2-3-17 はこども保育学科の例である。このグラフは、ディプロマ・ポリシーの項目に対して、カリキュラム・マップの◎、○、△によって関連付けられている科目の到達目標の達成度自己評価を◎、○、△に応じて重みづけして集約することによって得られたものである。実際に用いた重みは◎ : 1.3、○ : 1.0、△ : 0.8 である。この手続きにより、ともすると、一度作ってそのまま「ほこり」をかぶったままになってしまうことの多いディプロマ・ポリシーが、実際にその達成度を定量的に追求できる実践的な目標となる。

ディプロマポリシー達成度自己評価

ライフデザイン学科

項目① 知識・理解: カリキュラムの多面的な履修を通して、豊かな人間形成をおこない、幅広く深い現代的教養を身につける。

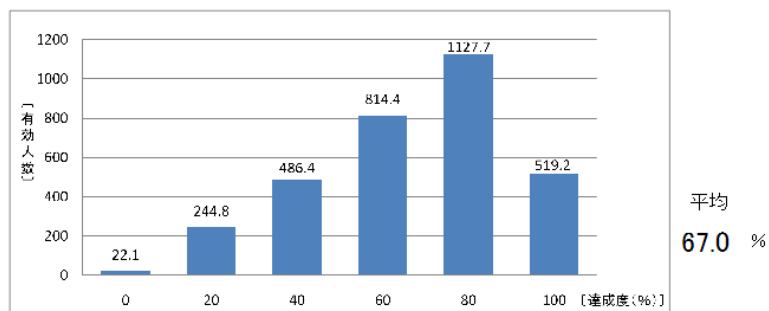


図 2-3-16 ライフデザイン学科のディプロマ・ポリシー達成度自己評価の例

ディプロマポリシー達成度自己評価

こども保育学科

項目① 知識・理解： 保育者として必要な専門知識・技能の習得に努める。

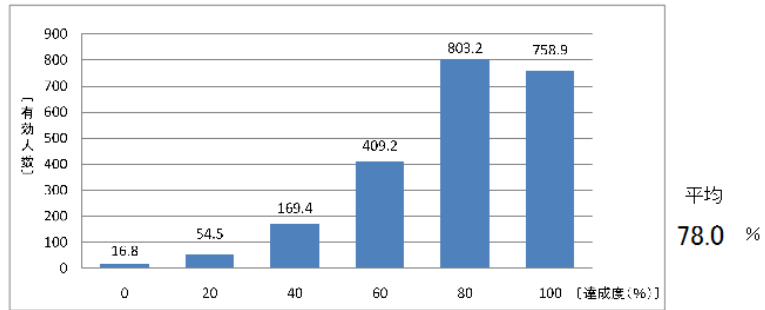


図 2-3-17 こども保育学科のディプロマ・ポリシー達成度自己評価の例

(9) ポートフォリオ各種マニュアル

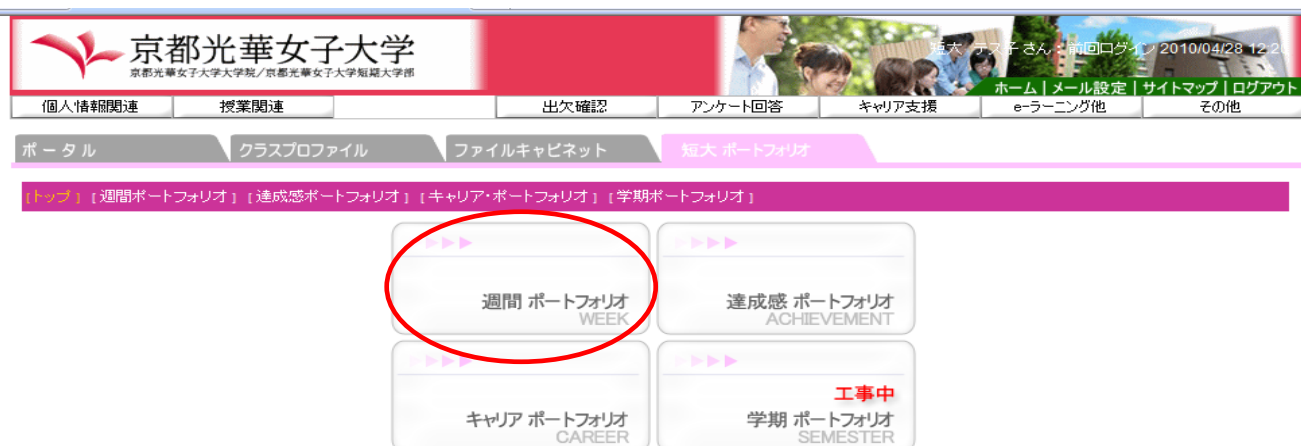
学生用

短大ポートフォリオ 週間ポートフォリオ【PC版】学生用 利用の手引

1. 光華 navi 「ホーム」画面等のトップメニュー 「短大ポートフォリオ」をクリックします。



2. 「短大ポートフォリオ」画面から「週間ポートフォリオ」を選択します。



3. 「週間ポートフォリオ」画面に週単位のカレンダーが表示されます。

入力したい週の「登録」をクリックします。



4. 1週間の行動履歴入力画面が表示されます。

[\(トップ\)](#)
[\(週間レポートフォリオ\)](#)
[\(達成感レポートフォリオ\)](#)
[\(キャリアレポートフォリオ\)](#)
[\(学期レポートフォリオ\)](#)

1週間の行動履歴

[戻る](#)
[1週間下へ](#)

目標

今週の優先順位(1)
(全角100文字)

達成度評価 達成できた ほぼ達成できた 行動したが達成できなかった 行動しなかった

今週の優先順位(2)
(全角100文字)

達成度評価 達成できた ほぼ達成できた 行動したが達成できなかった 行動しなかった

今週の優先順位(3)
(全角100文字)

達成度評価 達成できた ほぼ達成できた 行動したが達成できなかった 行動しなかった

日付	出席情報					予習・復習・課題	卸后・バイトなど	食事			睡眠 (H)
	1	2	3	4	5			朝	昼	夜	
04/19 月								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/20 火								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/21 水								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/22 木								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/23 金								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/24 土								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
04/25 日								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

アップロード [参照...](#) [追加](#)

添付ファイルは登録されていません

この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など (全角100文字)

日常生活で困っていることなど (全角100文字)

コメント欄 [コメント欄追加](#)

【短大 テス子】

未登録コメントです

[1週間上へ](#)
[一時保存](#) [投稿](#)

5. それぞれの入力エリアに内容を入力します。

1週間の行動履歴

記入例

戻る

画面下へ

目標

今週の優先順位(1)
(全角100文字)

国際交流センターの催しに参加して、外国人と話をする

達成度評価

達成できた ほぼ達成できた 行動したが達成できなかった 行動しなかった

今週の優先順位(2)
(全角100文字)

レポートを仕上げる

達成度評価

達成できた ほぼ達成できた 行動したが達成できなかった 行動しなかった

今週の優先順位(3)
(全角100文字)

授業に無遅刻、無欠席を目指す

達成度評価

達成できた ほぼ達成できた 行動したが達成できなかった 行動しなかった

月曜日、「目標」の「今週の優先順位」に自分自身で3つ目標を決めて入力します。少なくとも1つは必ず入力してください。

週末、それぞれの目標をどの程度達成できたかを自分自身で評価して、「達成度評価」をチェックします。

日付	出席情報					予習・復習・課題	部活・バイトなど	食事			睡眠 (H)
	1	2	3	4	5			朝	昼	夜	
04/19 月	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	中国語クラスの復習 60分		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7.0
04/20 火		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	健康論 I のレポート作成 120分	文化講演会に参加	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6.0
04/21 水	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	なし	アルバイト(4時間)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5.5
04/22 木	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	情報処理演習 I の課題 40分	煎茶部の活動	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7.0
04/23 金	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	なし	国際交流センターの催しに参加	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5.0
04/24 土						なし	アルバイト(7時間)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	8.0
04/25 日						中国語クラスの予習 60分		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10.0

毎日、「予習・復習・課題」「部活・バイトなど」の活動記録をつけ、「食事」をチェックし、「睡眠」に時間を入力します。当日よりも先の日付の入力はできません。

アップロード

添付ファイルは登録されていません

参照...

追加

出席情報は自動的に表示されますので、入力不要です。

この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など (全角100文字)

国際交流センターの催しでグループが一緒だった外国人の学生と話をし、楽しかったです。他の催し物にももっと積極的に参加しようと思います。

日常生活で困っていることなど (全角100文字)

なかなか朝が起きられず、1講時の授業を欠席してしまいます。

週末、この一週間を振り返って、特に努力したこと、反省すべき点とその対策、また、日常生活で困っていることなどを入力します。遅くとも翌週の月曜日までには入力してください。

コメント欄

コメント欄追加

【短大 テス子】

2010/04/28 17:40:58

国際交流のついで、外国人の学生と交流できてよかったです。

【短大 テス子】

未登録コメントです

「コメント欄」で、アップロードした写真などの説明をしましょう。

印刷

一時保存

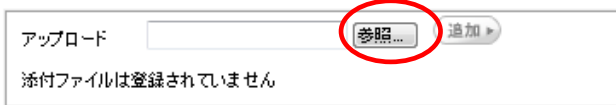
投稿

一時保存をクリックすると、入力した内容を投稿せずに保存します。保存してから後で修正できます。

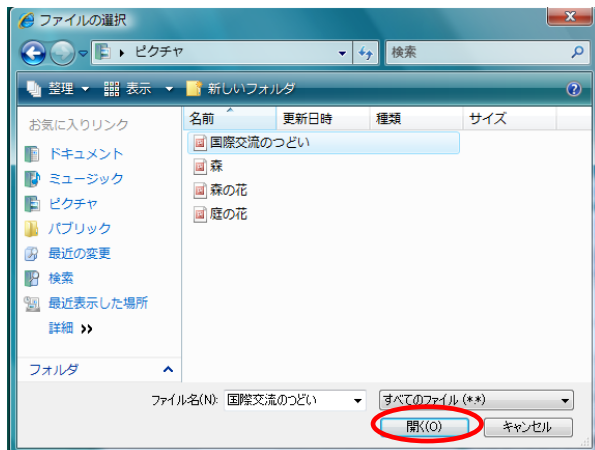
6. 写真などをアップロードします。

「今週一枚」として、例えば、部活やアルバイト仲間との写真、印象に残った風景の写真、ペットの写真など、今週撮った写真でとっておきの一枚をアップロードさせましょう。

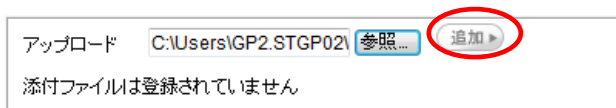
参照...をクリックします。



ファイルの選択画面が表示されます。ファイル名を選んで**開く(O)**をクリックします。



追加▶をクリックします。



写真イメージが表示されます。

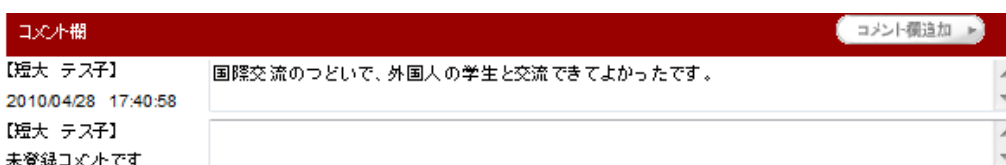


削除▶をクリックすると、添付ファイルは削除されます。

ダウンロード▶をクリックすると、添付ファイルをダウンロードできます。

7. 入力エリアへの内容の入力、写真のアップロードがすんだら、**投稿▶**ボタンをクリックすると、ポートフォリオに入力した内容が投稿され、担当教員と共有されます。

必ず翌週の月曜日までに投稿してください。



印刷▶

一時保存▶

投稿▶

8. 投稿すると、翌週、担当教員からコメントが返ってきます。

教員からのコメントを読むために「週間ポートフォリオ」画面の **参照** をクリックします。

京都光華女子大学
京都光華女子大学大学院 / 京都光華女子大学短期大学部

個人情報関連 | 授業関連 | 出欠確認 | アンケート回答 | キャリア支援 | ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト
e-ラーニング他 | その他

ポータル | クラスプロフィール | ファイルキャビネット | **短大ポートフォリオ**

[トップ] [週間ポートフォリオ] [達成感ポートフォリオ] [キャリアポートフォリオ] [学期ポートフォリオ]

2010年4月

第1週	29 - 4日	
第2週	5 - 11日	
第3週	12 - 18日	
第4週	19 - 25日	登録 ▶ 参照 ▶
第5週	26 - 2日	登録 ▶

9. コメント欄に教員からのコメントが表示されます。

教員からのコメントに対して、再びコメントを投稿することができます。

コメント欄 コメント欄追加 ▶

【短大 テス子】 国際交流のついで、外国人の学生と交流できてよかったです。 ▲ ▼

2010/04/28 17:40:58

【稲垣 久美子】 外国人と会話を楽しめてよかったですね。積極的に催しに参加しようという短大さんの意欲、すばらしいと思います。来週は、1講時に間に合うように早起きを頑張りましょう。 ▲ ▼

2010/04/30 09:05:04

【短大 テス子】 ▲ ▼

未登録コメントです

↑ 画面上へ

印刷 ▶ 投稿 ▶

短大ポートフォリオ
週間ポートフォリオ【携帯電話版】学生用 利用の手引

1. 携帯電話から光華 navi モバイルのサイトへアクセスします。

⇒ <https://m.koka.ac.jp/>

2. ログイン画面ではユーザ ID とモバイル用のパスワードを入力してください。

光華naviモバイル

ID

PASSWORD

3. メインメニューから週間ポートフォリオを選択します。

京都光華女子大学

1. [休講情報\(15件\)](#)
2. [お知らせ\(3件\)](#)
3. [ニュース\(0件\)](#)
4. [時間割](#)
5. [バスロード変更](#)
6. [週間ポートフォリオ](#)

4. [週間ポートフォリオ](#)画面に週単位のカレンダーが表示されます。

入力したい週の[登録](#)ボタンをクリックします。

2010年 4月

第1週 29- 4

第2週 5-11

第3週 12-18

第4週 19-25

第5週 26- 2

[0戻る](#)

[メインメニュー](#)

参照をクリックすると、既に登録したデータを参照できます。

5. 週間ポートフォリオ 1週間の行動履歴メニューが表示されます。

The screenshot shows a vertical menu titled "週間ポートフォリオ 1週間の行動履歴 4/26 - 5/2". The menu items are: ■ [目標入力](#), ■ [週間情報 4/26\(月\)](#), ■ [週間情報 4/27\(火\)](#), ■ [週間情報 4/28\(水\)](#), ■ [週間情報 4/29\(木\)](#), ■ [週間情報 4/30\(金\)](#), ■ [週間情報 5/1\(土\)](#), ■ [週間情報 5/2\(日\)](#), ■ [1週間の努力・反省・対策など](#), ■ [コメント入力](#), ■ [添付ファイル確認](#), ■ [ファイルアップロード](#), 1. [一時保存](#), 2. [投稿](#), 0. [戻る](#), and a [メニュー](#) button at the bottom.

Callout boxes provide the following explanations:

- 目標入力**: クリックすると、「目標」入力画面が表示されます。
- 週間情報 (4/26-5/2)**: 日付をクリックすると、日別入力画面が表示されます。当日よりも先の日付の入力はできません。
- 1週間の努力・反省・対策など**: クリックすると、「この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など」入力画面が表示されます。
- コメント入力**: クリックすると、「コメント入力」画面が表示されます。
- 添付ファイル確認**: クリックすると、添付した写真などを確認できます。
- ファイルアップロード**: クリックすると、写真などをアップロードできます。(*1)
- 一時保存**: クリックすると、入力した内容を投稿せずに保存します。保存してから後で修正できます。
- 投稿**: クリックすると、入力した内容が投稿され、担当教員と共有されます。*2

*1 目標入力・週間情報などを入力していないと、[ファイルアップロード](#)は表示されません。

*2 必ず翌週の月曜日までに投稿してください。

6. 目標入力画面

週間ポートフォリオ 4/26 - 5/2
目標
<p>■ 今週の優先順位(1) 今年の具体的な目標を立てます。</p>
<p>■ 達成度評価</p> <p><input checked="" type="radio"/> 達成できた <input type="radio"/> ほぼ達成できた <input type="radio"/> 行動したが達成できなかった <input type="radio"/> 行動しなかった</p>
<p>■ 今週の優先順位(2) アジア法学生協会(ALSA)という学生団体での活動で、TV会議を利用した遠隔交流に参加します。</p>
<p>■ 達成度評価</p> <p><input type="radio"/> 達成できた <input type="radio"/> ほぼ達成できた <input type="radio"/> 行動したが達成できなかった <input type="radio"/> 行動しなかった</p>
<p>■ 今週の優先順位(3) 今回は無遅刻、無欠席を目指します。</p>
<p>■ 達成度評価</p> <p><input type="radio"/> 達成できた <input type="radio"/> ほぼ達成できた <input type="radio"/> 行動したが達成できなかった <input type="radio"/> 行動しなかった</p>
<p>0. 戻る</p>
<p>メニュー</p>

月曜日、「目標」の「今週の優先順位」に自分自身で3つ目標を決めて入力します。少なくとも1つは必ず入力してください。

週末、それぞれの目標をどの程度達成できたかを自分自身で評価して「達成度評価」をチェックします。

7. 日別入力画面

週間ポートフォリオ 4/26 - 5/2
2010/4/30(金)
<p>■ 出席情報</p> <p>1: × マーケティング論 1 欠席 体調不良のため 2: ○ 比較文化総合研究 1 出席 3: △ 体育実技 1 遅刻 体調不良のため 4: ○ 道德教育の研究と指導 出席 5:</p>
<p>■ 予習・復習・課題</p> <p>比較文化総合研究 1のわからなかった所について調査・復習した。</p>
<p>■ 部活・バイトなど</p> <p>バイトあり (4時間)</p>
<p>■ 食事</p> <p><input type="radio"/> 朝 <input checked="" type="radio"/> 昼 <input type="radio"/> 夜</p>
<p>■ 睡眠(H)</p> <p>99.9</p>
<p>0. 戻る</p>
<p>メニュー</p>

出席情報は自動表示されますので、入力は不要です。

毎日、「予習・復習・課題」「部活・バイトなど」の活動記録をつけ、「食事」をチェックし、「睡眠」に時間を入力します。

8. この1週間で特に努力したこと、
反省すべき点とその対策など
入力画面

週間ポートフォリオ 4/26 - 5/2
<p>■ この1週間で特に努力したこと、反省すべき点とその対策など</p> <p>今週はアジア法学生協会(ALSA)という学生団体での活動に力を注ぎました。充実した活動ができたと思います。これからもこの調子で活動していきたいです。</p>
<p>■ 日常生活で困っていること</p>
<p>0. 戻る</p>
<p>メニュー</p>

週末、この一週間を振り返って、特に努力したこと、反省すべき点とその対策、また、日常生活で困っていることなどを入力します。遅くとも翌週の月曜日までには入力してください。

9. コメント入力画面

週間ポートフォリオ 4/26 - 5/2
<p>コメント欄</p>
<p>■ 青木 文美 (2010/04/30 13:21:15)</p> <p>とりあえず卒業することを目標にしていますが、卒業後どうなるか不安です。</p>
<p>■ 北山 守 (2010/05/01 09:05:30)</p> <p>北山です。学業については、卒業することだけを目標とせず、資格の取得にも注力してください。資格を取得すれば就職にも優位です。またAsian Law Students' Associationの活動もがんばってください。</p>
<p>■ 青木 文美</p>
<p>コメント欄追加</p>
<p>0. 戻る</p>
<p>メニュー</p>

コメント欄には、今週のトピックなどを自由に入力します。アップロードした写真の説明などをしましょう。

10. ファイルアップロード

週間ポートフォリオ
1週間の行動履歴
4/26 - 5/2

- [目標入力](#)
- [週間情報 4/26\(月\)](#)
- [週間情報 4/27\(火\)](#)
- [週間情報 4/28\(水\)](#)
- [週間情報 4/29\(木\)](#)
- [週間情報 4/30\(金\)](#)
- [週間情報 5/1\(土\)](#)
- [週間情報 5/2\(日\)](#)
- [1週間の努力・反省・対策など](#)
- [コメント入力](#)
- [添付ファイル確認](#)
- [ファイルアップロード](#)

1.一時保存
2.投稿
0.戻る

[メインメニュー](#)

ファイルアップロードをクリックすると、メール画面が立ち上がります。

本文と題名は入力せずに、好きな写真を添付して、そのまま送信してください。(携帯の機種によってメール送信や添付のしかたは異なります。)

11. 添付ファイル確認画面

週間ポートフォリオ
4/26 - 5/2

添付ファイル



NEC_0840.jpg 193218KB

[削除](#)

[0.戻る](#)

[メインメニュー](#)

「添付ファイル確認」で添付した写真を確認できます。

[削除](#)をクリックすると、添付ファイルは削除されます。

1 2. 入力がすんだら、投稿します。

週間ポートフォリオ
1週間の行動履歴
4/26 - 5/2

- [目標入力](#)
- [週間情報 4/26\(月\)](#)
- [週間情報 4/27\(火\)](#)
- [週間情報 4/28\(水\)](#)
- [週間情報 4/29\(木\)](#)
- [週間情報 4/30\(金\)](#)
- [週間情報 5/1\(土\)](#)
- [週間情報 5/2\(日\)](#)
- [1週間の努力・反省・対策など](#)
- [コメント入力](#)
- [添付ファイル確認](#)
- [ファイルアップロード](#)
- 1. [一時保存](#)
- 2. [投稿](#)
- 0. [戻る](#)

[メインメニュー](#)

一時保存は、入力した内容を投稿せずに一時保存します。後で修正できます。

投稿をクリックすると、ポートフォリオに入力した内容が投稿され、担当教員と共有されます。

2010年9月

短大ポートフォリオ 学期ポートフォリオのご案内

皆さんは、前期の「週間ポートフォリオ」を通じて、1週間単位で、その週の目標を立て、その週の行動履歴と目標達成度、反省点や困っていることなどを記録していきました。日々、目標をもって生活することが習慣づけられたことと思います。

後期からは、「学期ポートフォリオ」に取り組んでもらいます。学期ポートフォリオでは、学期という、さらに長い時間単位で目標を立て、PDCAサイクル(計画 Plan → 実施 Do → 評価 Check → 改善 Act)をまわすことを目指します。学期のはじめに目標を設定し、学期の終わりに、目標の達成度を自己評価します。

今回は、後期の目標を設定してもらいます。自分自身の将来と日常生活をつないで、将来に向けて、今、何を目標とすべきか?そのために何をすればいいか?自分自身の将来や短大での生活を見直し、自分自身の学びと成長のために、後期の目標を設定してください。学業、資格取得、検定試験、クラブ・サークル活動、アルバイト、ボランティア活動、地域での活動、読書、新聞など、領域は問いません。

後期の目標設定は、これから半年間の決意表明です。自分ができそうなレベルよりも、少し上のレベルを目指して頑張っていきましょう。将来を見据えながら、自分を一步でも成長させようと心掛けてください。将来に目を向けて、1年生後期の学生生活を思いっきり充実させてください。

別紙の「学期ポートフォリオ 学生用 利用の手引」にしたがって、9月30日までに、各自で、光華 navi から目標設定を行ってください。

短大ポートフォリオ 学期ポートフォリオ 学生用 利用の手引

1. 光華 navi トップメニュー「授業関連」－「e-ポートフォリオ」をクリックします。



2. e-ポートフォリオの一覧が表示されるので、「学期ポートフォリオ 後期の目標設定」を選択し、クリックします。



3. 「学期ポートフォリオ 後期の目標設定」の画面が表示されます。



4. 後期の目標を自分自身で決めて全角 200 文字以内で入力します。

e-ポートフォリオ
学習・生活・成長過程を記録していきます。

タイトル 学期ポートフォリオ 後期の目標設定

投稿日

後期の目標 短大生活を充実させるために、サークル活動に力を入れ、さまざまな活動に積極的に参加して、他大学の友人もたくさん作る。ビジネスマナー講座を受講して、社会で求められるビジネスマナーを身につける。また、初対面の人に対しても、人見知りすることなく、きちんと話ができるように、コミュニケーション能力を高めていきたい。
(全角 200文字)

教員コメント欄


一時保存▶をクリックすると、入力した内容を投稿せずに保存します。
⇒ 記事を書いている途中で保存したい場合に使用します。

一時保存▶ 投稿▶

投稿▶をクリックすると、ポートフォリオに入力された内容が投稿され、
クラスアドバイザーと共有されます。
※「投稿」ボタンを押した時点で書き込みや削除は一切不可となります。

5. 教員からのコメントがあった場合、画面下部の教員コメント欄にコメントが表示されます。

<教員コメントの確認方法>

- ・ e-ポートフォリオの一覧画面の教員コメント欄に  マークが表示されます。

e-ポートフォリオ
学習・生活・成長過程を記録していきます。

並び順 投稿日 検索▶ 新規▶ 一括参照する▶

投稿日	タイトル	記入状況	教員コメント	回答期限
	TEST			
	TEST05/14			2010/05/25
	掲示確認テスト用			2010/07/22
	学期ポートフォリオ 後期の目標設定			2010/09/30
2010/07/22	週間ポートフォリオに関する学生アンケート			2010/07/31

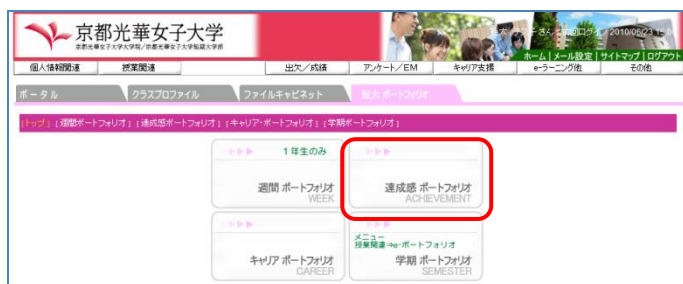
- ・ 光華 navi のホーム画面に掲示が表示されます。



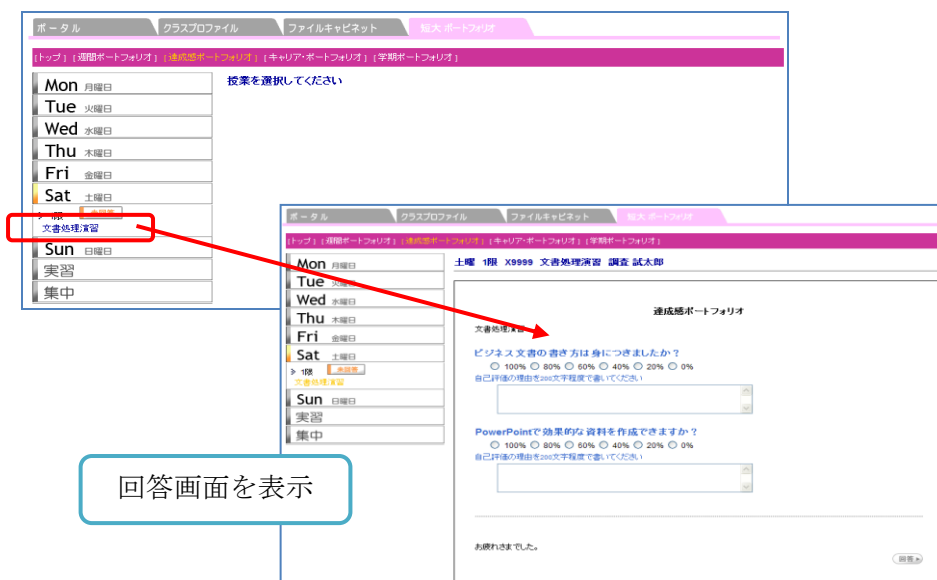
以上

短大ポートフォリオ 達成感ポートフォリオ 学生用 利用の手引

- ① 「短大ポートフォリオ」画面の「達成感ポートフォリオ」をクリック



- ② 左部分の履修授業一覧から「未回答」のボタンが表示されている授業をクリックし回答画面を表示する



- ③ それぞれの達成目標をどの程度達成できたかを自分自身で評価して達成度をチェックし、自己評価の理由を 200 字程度で記入する

※回答期間内であれば何度でも修正が可能



以上

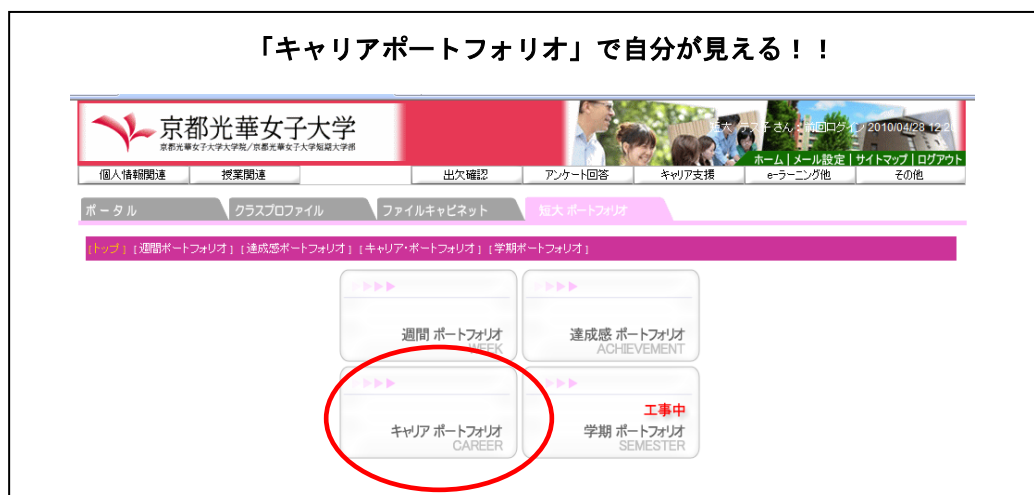
短大ポートフォリオ キャリアポートフォリオ ライフデザイン学科 利用の手引

学生時代のさまざまな経験や出会いは、その一つひとつが、すべて皆さんのキャリアにつながっていきます。皆さんが、将来の進路について考えたり、就職活動を始めるときには、自分の歩んできた道のりを振り返り、見つめ直すことが必要になります。

キャリアポートフォリオは、皆さんが過去に行ってきたこと、これからの学生生活で経験していくこと、さまざまな体験から得られたことを、記録して蓄積していくデータベースです。毎日の授業での学習、クラブ・サークル活動、アルバイト、ボランティア活動、インターンシップなど、学生生活を通してのさまざまな体験、新たな出会いを通じて、皆さんが、得たもの、感じたことを、自ら日記風に記録し、残していくことができます。

また、キャリアポートフォリオには、「自分史」「自分の強みの整理」「希望する職業分野の整理」「学生生活充実計画」など、皆さんが、自分自身の過去と現在を見つめ、将来について考えるためのワークシートがあらかじめ用意されています。

キャリアポートフォリオを活用して、自分の成長を感じ取り、皆さんの目標や夢を実現させるきっかけにしてください。



【日記風に記録し、残す】

1. 「キャリアポートフォリオ」画面の「新規」をクリックします。

投稿日	タイトル	記入状況	教員コメント	回答期限
	キャリアポートフォリオ_テスト3			2010/05/24
2010/05/24	キャリアポートフォリオのテスト2			2010/05/28
2010/05/24	キャリアポートフォリオのテスト			2010/05/28
2010/05/21	アソシエイト業界セミナー参加			
2010/05/11	ITテスト_キャリアポートフォリオ			2010/05/24
2010/05/10	テストタイトル1			2010/05/10
2010/05/10	テスト1			

一覧は、投稿日、タイトル、記入状況、教員コメント、回答期限の順に表示されます。

- 記入状況欄

	一時保存の状態（教員に記入内容は公開されません）
	記入済みの状態（記入内容が教員に公開されています）

- 教員コメント欄

	教員からコメントが記入された状態
--	------------------

2. タイトルと本文を入力します。

戻る

タイトル 必須

投稿日 必須 2010/06/29

本文 必須

(全角1000文字)

【添付ファイル】

添付ファイル

タイトルは、内容がわかるものにしましょう。

例えば、

「コンサートの感想」

「映画の感想」

「読んだ本の感想」

「花火大会の思い出」

「印象に残るフレーズ」 など

また、タイトルの先頭に、自分がわかるマークをいれるのもいいでしょう。

例えば、嬉しいことは、◎ 苦手なことは、△ 悲しかったことや辛かったことは、■など。

「◎学園祭で嬉しかったこと」

「△アルバイトでの失敗」 など

【記入例】

[トップ] [週間ポートフォリオ] [達成感ポートフォリオ] [キャリアポートフォリオ] [学期ポートフォリオ]

戻る

タイトル 必須

投稿日 必須

本文 必須 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら 岩崎夏海(著)」
(全角1000文字)
主人公の川島みなみが高校の野球部のマネージャーとして何をすればいいのかわからず書店で手に取ったのがドラッカーの『マネジメント』。この経営の本を読んで、心を打たれて涙を流す。目指すは甲子園！... すいすい読めて、よかったな。イラストもアニメーションもよかったし。あまり顔を使わなくても読めた。通学電車での読書はいい。

【添付ファイル】
添付ファイル 参照... 追加

一時保存 投稿

写真や絵などを添付することができます。

一時保存をクリックすると、入力した内容を投稿せずに保存します。保存してから後で修正できます。

3. 投稿する

[トップ] [週間ポートフォリオ] [達成感ポートフォリオ] [キャリアポートフォリオ] [学期ポートフォリオ]

戻る

タイトル 必須

投稿日 必須

本文 必須 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら 岩崎夏海(著)」
(全角1000文字)
主人公の川島みなみが高校の野球部のマネージャーとして何をすればいいのかわからず書店で手に取ったのがドラッカーの『マネジメント』。この経営の本を読んで、心を打たれて涙を流す。目指すは甲子園！... すいすい読めて、よかったな。イラストもアニメーションもよかったし。あまり顔を使わなくても読めた。通学電車での読書はいい。

【添付ファイル】
添付ファイル 参照... 追加

一時保存 投稿

投稿をクリックすると、日記の内容をクラスアドバイザー、キャリア教育担当の教員と共有されます。

一時保存をクリックすると、入力した内容を投稿せずに保存します。保存してから後で修正ができます。

【あらかじめ用意されているワークシート】

自分史シート

タイトル	自分史
投稿日 必須	<input type="text"/>
小学生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか (全角 20文字)	<input type="text"/>
どうしてだったと思いますか <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
中学生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか (全角 20文字)	<input type="text"/>
どうしてだったと思いますか <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
高校生時代を振り返って、どんな科目が好きでしたか (全角 20文字)	<input type="text"/>
どうしてだったと思いますか <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text"/>
小学生時代を振り返って、一番力を入れたこと (全角 200文字)	<input type="text"/>
中学生時代を振り返って、一番力を入れたこと (全角 200文字)	<input type="text"/>
高校生時代を振り返って、一番力を入れたこと (全角 200文字)	<input type="text"/>
小学生時代を振り返って、印象に残っている出来事 (全角 200文字)	<input type="text"/>
中学生時代を振り返って、印象に残っている出来事 (全角 200文字)	<input type="text"/>
高校生時代を振り返って、印象に残っている出来事 (全角 200文字)	<input type="text"/>

自分の強みの整理シート

タイトル	<input checked="" type="checkbox"/> 強みの整理しよう
投稿日 <small>必須</small>	<input type="text"/>
現在の自分の強み	<input type="text"/>
(全角 100文字)	
それを裏づける具体的なエピソード	<input type="text"/>
(全角 200文字)	
普段感じている自分の短所	<input type="text"/>
(全角 100文字)	
見方を変えて短所を長所に言い換えると	<input type="text"/>
(全角 100文字)	
それを裏づける具体的なエピソード	<input type="text"/>
(全角 200文字)	

[一時保存](#) [投稿](#)

希望する職業分野の整理シート

タイトル	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する職業分野の整理
投稿日 <small>必須</small>	<input type="text"/>
興味がある職業分野	<input type="checkbox"/> 営業・販売 <input type="checkbox"/> 広報・宣伝 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 運営・調整 <input type="checkbox"/> 社会福祉 <input type="checkbox"/> システム <input type="checkbox"/> 技術・生産 <input type="checkbox"/> 企画・開発 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> 起業
興味がある職業分野(1)	<input type="text"/>
(全角 20文字)	
分野(1)を選んだ理由	<input type="text"/>
(全角 200文字)	
興味がある職業分野(2)	<input type="text"/>
(全角 20文字)	
分野(2)を選んだ理由	<input type="text"/>
(全角 200文字)	
興味がある職業分野(3)	<input type="text"/>
(全角 20文字)	
分野(3)を選んだ理由	<input type="text"/>
(全角 200文字)	

[一時保存](#) [投稿](#)

学生生活充実計画シート

タイトル	<input checked="" type="checkbox"/> 学生生活充実計画を立てよう
投稿日 必須	<input type="text"/>
学生生活でやってみたいこと	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 100文字)	<input type="text"/>
自分の強み	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 100文字)	<input type="text"/>
興味のある仕事	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 100文字)	<input type="text"/>
この1年間の目標(なりたい自分や実現したいこと)	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 200文字)	<input type="text"/>
目標を達成するために必要とされる力	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 200文字)	<input type="text"/>
目標達成のために、授業や学びの面でできること	<input checked="" type="checkbox"/> 講義・授業に力を入れる <input type="checkbox"/> 得意な分野を見つける <input type="checkbox"/> 専門分野の本をたくさん読む <input type="checkbox"/> 語学の授業に力を入れる <input type="checkbox"/> 語学系のクラブ・サークルに入る <input type="checkbox"/> 外国人の知人・友人をつくる <input checked="" type="checkbox"/> 就きたい職業に必要な資格を調べる <input type="checkbox"/> エクステンションセンターの資格講座に通う <input type="checkbox"/> プレゼンテーション(説明・発表)の機会を多く持つ <input type="checkbox"/> 毎日、新聞やニュースを見る <input type="checkbox"/> プロジェクト活動(チームの協同作業)に参加する <input type="checkbox"/> 「判断推理」の力を高める教材に取り組む <input type="checkbox"/> 演習科目に力を入れる <input type="checkbox"/> 苦手な科目を克服する <input type="checkbox"/> 進学する <input type="checkbox"/> 語学の本をたくさん読む <input type="checkbox"/> 語学の講座・スクールに通う <input type="checkbox"/> 留学する <input type="checkbox"/> 資格取得のための勉強をする <input type="checkbox"/> コミュニケーションに関わる書籍を読む <input type="checkbox"/> パソコンの使い方を勉強する <input type="checkbox"/> 講演やセミナーに積極的に参加する <input type="checkbox"/> 「問題解決のスタイル」を意識して磨く <input type="checkbox"/> 思考力・創造力を高める教材に取り組む
授業や学びの面でできること(自由記述欄)	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 200文字)	<input type="text"/>
目標達成のために、生活面でできること	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ・サークルに入る <input type="checkbox"/> クラブ・サークルをつくる <input type="checkbox"/> 知人・友人をたくさんつくる <input type="checkbox"/> アルバイト・インターンシップをやってみる <input type="checkbox"/> アルバイトでたくさん職業を経験する <input type="checkbox"/> 社会人の先輩の考えや体験を聴く <input checked="" type="checkbox"/> インドアの趣味に力を入れる <input type="checkbox"/> 体を鍛える、体力をつける <input type="checkbox"/> 地域活動に参加する <input type="checkbox"/> 自分の好きなことを見つける <input type="checkbox"/> 自分の不得意なこと、弱みを知る <input type="checkbox"/> 卒業後、就きたい職業を見つける <input type="checkbox"/> クラブ・サークルでの目標をつくる <input type="checkbox"/> 大会・コンテストで上位を目指す <input type="checkbox"/> クラブ・サークルでリーダーをする <input type="checkbox"/> 就きたい職業に活かせるアルバイトをする <input type="checkbox"/> 他校・社会人の知人・友人をたくさんつくる <input type="checkbox"/> 在学中に起業する <input type="checkbox"/> アウトドアの趣味に力を入れる <input type="checkbox"/> ボランティア活動をする <input type="checkbox"/> ホームページやブログなどで自分を表現する <input type="checkbox"/> 自分の得意なこと、強みを知る <input type="checkbox"/> 今自分に必要な力をつける <input type="checkbox"/> 将来やりたいことを見つける
生活面でできること(自由記述欄)	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 200文字)	<input type="text"/>
「なりたい自分」に近づくためにすべきこと	<input checked="" type="checkbox"/>
(全角 200文字)	<input type="text"/>

夏休みの目標シート

タイトル	<input checked="" type="checkbox"/> 夏休みの目標
投稿日 <small>必須</small>	<input type="text"/>
夏休み中の目標はありますか？ <small>必須</small>	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
その目標は何ですか？(答えられる範囲で)	<input type="text"/>
(全角 200文字)	<input checked="" type="checkbox"/>
卒業後の進路について考えていますか？ <small>必須</small>	<input type="checkbox"/> 進学したいと思っている <input type="checkbox"/> 一般企業に就職したいと思っている <input type="checkbox"/> 公務員になりたいと思っている <input type="checkbox"/> 家業を手伝うつもりである <input type="checkbox"/> 地元に戻るつもりである <input type="checkbox"/> その他
進路について、具体的な準備は進めていますか？ <small>必須</small>	<input type="checkbox"/> 既に試験対策勉強を始めている <input type="checkbox"/> この夏から始める予定である <input type="checkbox"/> その他
進路に関する夏休みの目標を追加しましょう <small>必須</small>	<input type="text"/>
(全角 200文字)	<input checked="" type="checkbox"/>
迷ってるなら、こんな目標はいかがでしょう？	<input type="checkbox"/> 就職対策問題集を一冊勉強する <input type="checkbox"/> 友人と情報交換を兼ねた勉強会を実施する <input type="checkbox"/> 進路の参考になるイベントに参加する <input type="checkbox"/> 企業情報を10社調べる <input checked="" type="checkbox"/> 新聞を毎日読む
コメント欄	<input type="text"/>

一時保存 ▶ 投稿 ▶

2. 4 ライフデザイン学科の体験研修

(1) 国内研修

目的

ライフデザイン学科では、これまで、ファッション・ブライダル、フード、トラベルなどに代表される、いわゆる家政系分野を中心とした研修を実施してきた。ところで、近年の環境問題の情勢を考えると、これらのどの分野に就職するにしても環境やエネルギーは、避けて通ることのできない重要なテーマである。あらゆる分野の企業や団体が、これらのテーマを最重要項目のひとつに位置づけている。そこで本研修では、大阪ガスや関西国際空港の見学を通じて、これらのテーマを座学からだけでなく、より実学的視点から学習することを目的とした。

実施内容

①日時

平成 22 年 8 月 4 日（水） 8:50～18:00

②行程

8:50 大学集合

9:00 大学出発（バス移動 120 分、うち休憩 15 分）

11:00 大阪ガス「ガス科学館」到着（施設見学 90 分）

12:30 大阪ガス出発

13:00 関西国際空港到着（機内食試食体験 60 分＋空港施設見学 60 分）

15:00 関西国際空港出発（バス移動 15 分）

15:15 りんくうプレミアムアウトレット到着（見学/休憩 60 分）

16:15 りんくうプレミアムアウトレット出発（バス移動 105 分、うち休憩 15 分）

18:00 本学到着 解散

③場所

- ・ 大阪ガス「ガス科学館」 大阪府高石市高砂 3 丁目 1 番地
- ・ 関西国際空港「関空展望ホール」 大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地
- ・ りんくうプレミアムアウトレット 大阪府泉佐野市りんくう往来南 3-28

④参加者

学生 42 名、引率教員 2 名、職員 1 名、添乗員 1 名

結果

初めに、大阪ガス「ガス科学館」にて、エネルギー問題の現状を学び、人類が直面する環境問題について考察する機会を得た。ここでは、まず、都市ガスや天然ガスについての概要説明、および液化天然ガス(LNG)が都市ガスとして供給されるまでの過程、LNG タンクの安全対策についての簡易実験を含んだ講習によって知識を深めた。次に、併設する総面積73万㎡の広大な都市ガス工場・泉北製造所の保安区域（特別エリア）をバス車窓より見学した。同社生産量の約70%を製造する工場内では、環境配慮活動として、緑化や生ゴミ処理機、天然ガス自動車などの環境づくりが推進されており、エネルギー関連企業における、いわゆる「エコ活動」の実際を学ぶことができた。そして、同施設の館内の参加型展示物により、マイナス196℃の液化窒素を用いた冷熱実験や、気体の比重差を利用した科学実験に参加した他、映像が映し出される巨大地球儀のデモンストレーションを通じて、100年後の地球のリアルな様子を観察するなど、地球温暖化に代表される環境問題の現状と未来について考察する機会となった。

次に、関西空港展望ホール「スカイビュー」では、飛行機の離発着が行われる壮大な施設や管制塔を見学した他、ビジネスクラスの機内食を試食するなど、航空業界で実施されている安全性の確保（食を含む）について学習した。さらに、通常立ち入ることのできない関西空港の保安区域（航空燃料の超大型給油タンク施設、国際貨物地区、機内食工場）をバス車窓より見学した。車中では、スタッフから各施設における工夫について説明がなされた。研修に参加した学生は、各施設における安全性への努力や挑戦を知り、単なるレジャー旅行では到底思いも及ばない航空業界のサービス精神に感銘を受けた様子であった。

最後に、関西空港対岸にある「りんくうプレミアム・アウトレット」を訪問し、客の購買意欲に対する店の外観や店頭におけるショッパディスプレイの影響を観察するなど、マーケティングの実際を考察する機会となった。

このように本研修を通して、通常の学びの基軸としている家政系分野のみならず、今後益々重要になる環境分野について、通常の座学からでは得ることの出来ない実学的知識を習得することができた。また、今回の研修を通じて、授業等で学んだ知識に、よりリアリティーを付与する結果となり、このような経験が、今後の学習意欲の向上のみならず、卒業後の社会活動や地域活動につながるものと思われる。

アンケート結果

研修後、9項目に対して5段階評価のアンケートを実施した。その結果、図2-4-1のようなデータが得られた。Q.1～Q.4のような研修全体の意義に関する項目では、「とてもそう思

う」と答えた学生が全体の54%以上であり、半数以上の学生に対して大変有意義な研修であったと考えられる。また、Q.5～Q.9のような、環境に関する具体的項目についても「とてもそう思う」と答えた学生が全体の42%以上であった。

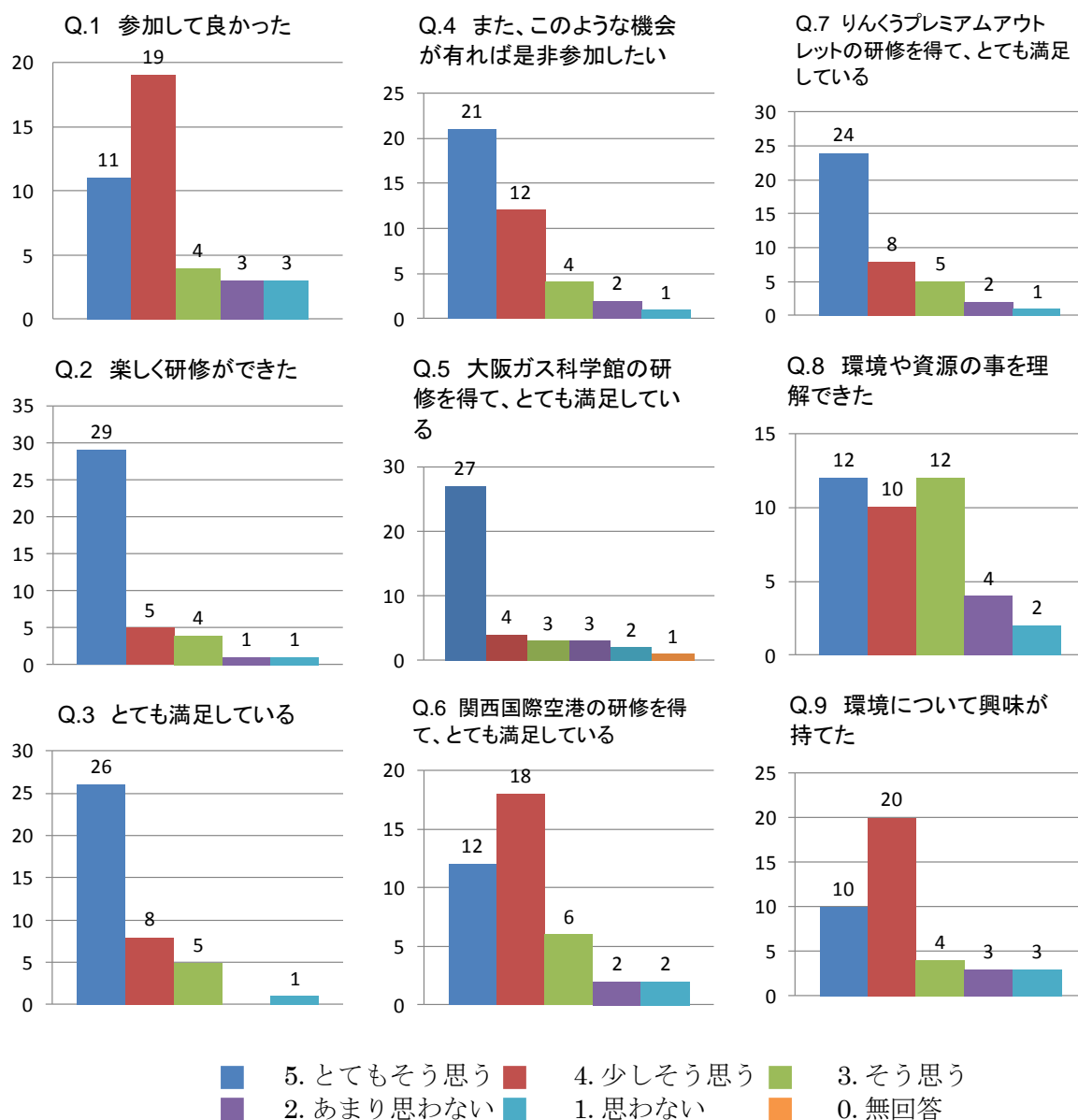


図 2-4-1 本研修に関するアンケート結果

以上の結果は、参加した学生の環境問題への関心が比較的高い傾向にあることを示唆している。また、このような環境問題を学生にとってより具体的な関心、すなわち「わがこと」としてつなげていくことが今後の課題である。

学生レポート（2名）

【ライフデザイン学科 学生1】

夏休み初日に特別研修に行ってきました。まず初めに大阪ガス「ガス科学館」に行きました。天然ガスについて、実験も交えてわかりやすく説明していただきました。実験が失敗したときも、理由が面白くて楽しい説明でした。広い敷地内では、自転車で見回ったり、お昼は健康のためにジョギングをしたり、エコや健康管理もしっかりしている大阪ガスはさすがだと思います。“触れる地球”は、夜の地球や雲の様子などを見ることができました。もっと早くにこの“触れる地球”があれば、ハリケーンなどの自然災害を防ぐことができたのではないかと考えさせられました。これから技術が発達して、人々を災害から守ることができたらすごいと思いました。

次に関西国際空港へ行きました。機内食は、安全性チェックがしっかりしていると思いました。着陸する飛行機を見ながらお昼を食べるのは、普段の生活ではできないことなので良い気分でした。その後、バスに乗って車内から空港内を案内していただきました。たくさんの種類の建物があり、それぞれの役割を果たして、安全な空の旅にしてくださっていることを改めて感じました。ここで一番印象に残ったのは、北進入灯付近で飛行機を間近に見たことです。暑かったですが、頭の上を通る飛行機を見て感動しました。友達とたくさん写真を撮り、携帯電話の待ち受けにしています。もっと長い時間、飛行機を見ていたかったです。

最後にりんくうプレミアムアウトレットに行きました。想像していたよりも、お店が見やすかったです。好きなブランドの店は見ているだけで幸せでした。服や雑貨を見ているだけで楽しかったです。アウトレットは外国のような町並みで、海外に行ったような気分で歩いて楽しかったです。

普段の生活ではなかなか行くことのできない場所に行って、夏休みの楽しい思い出ができました。このような機会があれば、次も参加したいです。

【ライフデザイン学科 学生2】

大阪ガス「ガス科学館」で話を聞いて、工場は工場なりに二酸化炭素排出削減のための対策を考えていたことが分かりました。実験では落ちないシャボン玉を見たり特殊な地球儀に触れたりなど、なかなか体験できない事をたくさん体験させて頂けた事がとても楽しかったです。どこの会社も環境の事を考えながらでなければ仕事は成り立たないなと思いました。また、環境の事とは関係ないのですが、案内の方一人ひとりがすごくしっかりしていて思わず見とれてしまいました。ビジネス実務で勉強したことが、完璧にこなされていました。

関西空港での機内食はとても美味しかったです。関西空港は1回だけ利用したことはあ

ったのですが、やはり表面的な部分しか見ていなかったもので、今回工場などの裏側を見ることができて良かったです。ファミリーマートのシャワールームの看板には、とても驚きました。人生で初めて見ました。また、飛行機を真下から見ることで改めて飛行機の大きさと迫力を感じました。飛行機は何故白色が多いのかという事の理由が、お金の節約や、エコのことを考えてだったということには驚きました。白色に訳などあるとは思っていませんでした。

りんくうプレミアムアウトレットでは、噴水やドライミストなどがあって温暖化対策をしているなと思いました。施設内の洋風な雰囲気には、日本にいることを忘れてしまうほど引き込まれていきました。

一日を通して感じた事は、本当に、環境やエネルギーは避けて通ることのできない重要なテーマであるという事です。これからの社会では環境の事を考えなければならないのだということも思いました。色々なところへ行って、色々な立場から見て、色々な事を学べて本当に良かったです。

(2) 海外研修

目的

ライフデザイン学科では、外国から日本を見ることを体験し、新たな観点でライフデザインを考えるきっかけにすると同時に、キャリア教育への動機を高め、世界を舞台に活躍する人をモデルにライフデザインを考える機会とするために、海外研修を実施した。世界の縮図といわれるハワイを研修の地として、ハワイの自然の中で育まれたフード・トラベル・ビジネス・ブライダルなどについて学習することを目的とした。

研修内容

- コーヒー豆の収穫と焙煎体験（フード・ビジネス・環境）

世界三大コーヒーのひとつ、コナコーヒー農園で、食品の観点からの農園見学を通じてコーヒーの栽培について学び、焙煎体験を通じてコーヒーを美味しく飲むコツなどを学んだ。ここでは、UCCハワイ取締役総支配人の松尾潔氏の全面的協力を得て、収穫体験も実施した。



高台にある美しいコーヒー農園で、ハワイの移民の歴史や、サトウキビから始まってコーヒーに至る過程などを学んだ。

- 海洋深層水を用いたアワビ養殖の見学（フード・ビジネス・環境）

Big Island Abalone(株)社長の新井宏氏に、養殖場を案内してもらいながら説明を受けた。養殖場は、ハワイ州立自然エネルギー研究所（NELHA）内にあった。新井氏は、ハワイ島コナの近海で深さ 900m から汲み上げる海洋深層水のタンクで、同じくミネラルをたっぷり含んだ海草を餌に育つきれいなアワビを育てることに成功された。ここまで 11 年間の苦労をされた方のお話は、社会人基礎力の「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」のすべての能力に対して刺激を与え、新井氏の口から語られる言葉がしっかりとした重さを持って学生に伝わった。

- ブライダルコーディネーター等によるレクチャー（ブライダル・ホテル）

ホスピタリティにアロハスピリットを注ぎ込んだリゾートウェディングについて、ホテル業務についてなど、実際の状況を写真などで再現しながらレクチャーを受けた。

- ハワイで起業した女性のレクチャー（ビジネス・インテリア）

不動産業界で活躍されているヒロコ・ブレンナ氏から、ハワイのビジネスで成功する秘訣を学んだ。また、このレクチャーにより、人生の岐路に立った時、どのように判断をすればよいかなど、具体的な人生の指針をつかむコツを学んだ。カハラ地区の豪邸を見学す

ることにより、インテリアについても学んだ。

- 天体観測（地球・宇宙）

屋外の星空の下で、ネーチャーガイドの縄田幸一郎氏から宇宙と星についてのレクチャーを聴いた。流れ星も見ることができ、天然のプラネタリウムで、宇宙の大きさ、悠久の歴史を感じることができた。



- 東本願寺ハワイ別院参拝（人・心）

東本願寺ハワイ別院に参拝し講話を聴くことで、ハワイにおいても仏教の信仰が大切に守られていることを学んだ。

参加者

学生 14名（1年生 4名、2年生 10名）、引率教員 4名



スケジュール

8/30 日本出発

8/31 ハワイ島での研修

海洋深層水を用いたアワビ養殖ビジネスについて（フード・ビジネス・環境）

コーヒー豆の収穫と焙煎体験（フード・ビジネス） 研修

ハワイのホテル業界について（ホテル）

ハワイのブライダルについて（ブライダル）

星座や流れ星の観測（環境・天文）

9/1 ハプナ・ビーチ

9/2 世界遺産「火山国立公園」

9/3 オアフ島でのハワイ大学学生との懇親会

9/4 オアフ島での研修・東本願寺ハワイ別院参拝

カハラ地区の豪邸見学（2軒）

ハワイに家を買う話（ビジネス・海外生活）

大学生のコンドミニアム見学（ロイヤル・クヒオ）

9/5 ハワイ出発

9/6 日本帰着

学生研修レポート

学生 A

①海外での研修

UCC 農園で、ハワイにおけるホテル関係の人の話やウェディングの話聞いた。話の締めくくりとして、『人生のアドバイス』を聞くのが一番楽しくもあり、勉強にもなった。中でも特に印象深かったのは不動産業のヒロコ・ブレンナさんの話だった。最初、欲しいものは何かと聞かれ、お金や彼氏という答えを返した。彼女いわく **Want** と **Need** の違いを見極めれば人生は上手くいくという。嘘のようで本当の話だと思ったのは、それなりの説得力と実績があったからだった。ブレンナさんは、最初はまともに喋れなかった英語も、今ではアメリカ人より語彙力があると自信を持つぐらい身に付いた。その他にも、韓国語・インドネシア語・ドイツ語など 5 カ国語も話せるらしい。それらは自分にとって **Need** であり、また習得する自信もあったのだろう。私も、この人の話を聞いてから「英語と韓国語をマスターする」という目標を達成させる事を誓い、また必ずその気になれば習得できるという自信もついた。

日本人は不動産のキャリアや肩書がなければパートナーとして認めてくれなかったが、アメリカ人は「あなたは私のために何をしてくれる？」という質問にどれだけ応えられるかで交渉が成立し顧客になったという。ここで、日本とアメリカの違いを見たような気がした。『夢の国アメリカ』そして『楽園の島ハワイ』にどれだけ日本人が足を運び、チャレンジしてきただろうか。いつか、私もブレンナさん達のように、強く生きる人間になろうと思う。欲望ではなく、自分にとって本当に必要なのは何か。どの人にも共通したことが「自分のためにどんどんチャレンジしてアンテナを張っていく」こと。その日から、外国人に積極的に英語で話しかけたのは言うまでもない。

②コンドミニウム宿泊体験

まず、スケールの大きさと内装のきれいさに驚いた。5 人プラス先生の 6 人で 4 日間生活したのだが、大きく気付いたのは 2 点。「自立性」と「協調性」。幸い私のユニットでは、毎食のご飯を皆で買い物に行き、作ったので、食事に困ることはなかったが、さすがに自分の体調管理や身支度まで任せるわけにはいかない。共同で生活するのだから、誰がこれをするかなど順番や決めごとは多い。その中で、いかに人に譲りつつ、自分の意思表示もできるかというバランスが難しかった。私はマイペースな人間だから余計に苦しんだ。でも、この生活をしなければ気付かなかった事も多かっただろうと思う。

③東本願寺ハワイ別院

この研修に参加する前まで、ハワイに東本願寺の別院が存在することを知らなかった。実際に行ってみると、教会と仏教が入り混じったような不思議な空間だった。ここはハワイだから日本人以外にも、外国人の人と 2 世の人がいて、単純に「外国の人がどうして仏教に興味持つのだろう」と思っていた。言葉は分からなくとも、外国にはないような日本

独自の雰囲気は仏教にはあり、それがその人たちにとっての魅力に繋がっているのだろう。私たちにとって、仏教は身近なものである。それがゆえ、仏教とは何かを考えることもなく、ただ過ごしていた気がする。だからこうやって外国に来て、改めて外国の人が「日本の仏教は素晴らしい」と崇拜していることがとても新鮮で、日本にいる時とはまた違った気持ちで参拝することができた。国は違えど、何かを崇拜するのはどこの国でも同じだなと思った。この機会に、宗教の枠を超えてもっと日本の文化を見直してみるのも良いと思った。

④海外研修の意義

今回の研修は私の人生に影響を与えたと言っても過言ではない。そのくらい、私自身の価値観は変わった。ここへくるまでにはさまざまな道のりがあった。まず、ハワイに來させてくれた両親・祖父母に感謝した。サポートしてくれた先生たちに感謝した。そして感銘を受けさせてくれた、ハワイで出会った人たちに感謝した。こういうことは普段の生活ではなかなか感じる事はない。「当たり前」に慣れ過ぎてしまっているからだ。前述したようにブレンナさん達にはたくさんの勇気もらった。諦めないこと、何事もチャレンジすること、自分のためにアンテナを張っていくこと…。正直、この研修に来るまで平凡な生活だったと思う。これまで、私が何か変わるきっかけを得る時は海外に出たときで、その時に改めて親への感謝や日本のありがたみ、言葉の大切さを実感する。しかしそれは時間が過ぎるにつれ薄くなっていく。しかし、今までと違うのが今回の研修の魅力ではないだろうかと思はつくづく思う。まず言語の大切さを改めて実感し勉強を再開したし、家に帰ってきてからも母から「お土産の価値観」について学び、再びハワイに行くことを胸に誓った。

言語に加えて日本文化の大切さにも気付かされた。これはホテル業界の人も言っていたけれど、自分の国の文化も話せないようではいけないということ。だからこの機会にもう一度勉強し直そうと思う。

このように、普通に旅行に行くだけでは感じる事のないモノが、この研修にはたくさん詰まっている。研修先・海外で活躍している人たちの話・共同生活…など数えきれない。もしこの研修があなたの人生に影響を与えたかと聞かれれば、間違いなく「はい」と答えるだろう。そして迷わず「次はあなたも行ってみなさい」と自信を持って勧めるだろう。

学生 B

学生生活最後の夏休みに、6泊8日でハワイ研修に行きました。この研修の計画を聞いた瞬間から、私は絶対に行く決めていて本当に楽しみにしていました。この研修で学んだことがたくさんありました。

まずは、新井先生のアワビの養殖のお話です。直射日光が当たらないように陰を作り、海洋深層水でアワビを養殖するため、経費がかかるとおっしゃっていました。手間をかけて育てられているだけあって、ここで食べたアワビは本当においしかったです。次に UCC ハワイの三木先生からコーヒー豆についてお話を聞きました。今まで聞いたことのある名

前が、焙煎方法やブレンドの名前だったと初めて知りました。コーヒーの焙煎体験は時間との戦いで、熱かったし、緊張しました。でもいい感じの色に仕上がってよかったです。お土産を買いながら、4種類のコーヒーを飲み比べました。私でもわかるくらいそれぞれ味が違ってびっくりしました。私は毎朝コーヒーを飲んでいますが、この体験でもっとコーヒーが好きになりました。

そして、シェラトンの平野先生からお話を聞きました。素敵な人生を歩まれていて、現在も輝いていらっしゃるってすごいなと思いました。

ワタベウェディングの佐藤先生も元気でおもしろい方で、お話を聞いているのが楽しかったです。ハワイの海外ウェディングはとても人気ですが、オアフ島での挙式がほとんどで、ハワイ島での挙式は週3組だそうです。こんなに少ないなんてびっくりしました。でも、ていねいな接客をしていただけるし、自分たちのために一生懸命になってくださるので、ハワイ島でのウェディングに憧れます。日本からの移動は大変だけれど、一生に一度なので良いと思います。

夜は縄田先生から星座や宇宙の話をお聞きしました。知識はありませんが、星を見るのが大好きでとても興味がありました。ギリシャ神話の星座の話や、遭難した時の北極星の見つけ方を教えてもらいました。星座の話は家族や友達にしてあげたいと思いました。宇宙の広さを説明してくださったのですが、規模の大きさに目眩がしました。私たちがこの地球上で生活できている奇跡に改めて感動しました。私の悩みなんて、本当に小さなものだと思います。寒かったけど、あんなにきれいな星空は生まれて初めてでした。次にハワイに行くときは、マウナケア山頂に行ってみたいです。

ヒロコ先生のお話は、これからの私のためになる話でした。**Want**なのか**Need**なのか、人生の岐路に立ったら**Need**を選択します。これは成功への近道だそうです。「必要な方を取ったのだから、後悔することはない」という言葉は心に響きました。こんなに素晴らしいお話を聞くことができよかったです。ハワイの人はあたたかくて、優しい人が多いと感じました。

最後の研修は、東本願寺ハワイ別院に行きました。この研修に参加していなかったら、別院の存在を知らなかったと思います。真っ白な建物で、日本の東本願寺とは全然違いました。仏様は日本から全部運んできたということにびっくりしました。お正月には除夜の鐘を鳴らしたり、おせち料理を食べたりと、日本のお寺と同じで安心しました。いただいた経典は日本語と英語の両方で書かれていて、英語の勉強にもなると思いました。

コンドミニアムは、優雅に過ごせて楽しかったです。キングサイズのベッドやかわいいキッチン、部屋は広くてきれいで快適に生活できました。朝食や昼食をグループのみんなと協力して買い出しに行ったり、料理したりと、より絆が深まったような気がします。友達の新しい面も発見できてよかったです。オアフ島のコンドミニアムは34階に泊まれて嬉しかったです。夜景がきれいで感動しました。ハワイの朝は、起きたらいつも晴れていて、過ごしやすく気持ちのいい1日の始まりで、ハワイに住んでいる人はいいなと思いました。

そういえば、ハワイ大学の学生に「日本が好き、日本人のあなたが羨ましいよ」と言われて、嬉しかったです。でも逆に、私はハワイで生活しているあなたが羨ましいと思いました。自分の語学力のなさに悲しくなりました。英語が話せるようになりたいと思いました。

「ハワイに行ったら日本に帰りたくなる」と言う人の気持ちがわかるほど、もっと長くハワイで過ごしたかったです。長いと思っていた6泊8日は、本当にあっという間でした。ハプナビーチの青い空と青い海は最高でした。写真でしか見たことのないようなサンセットを見て感動しました。朝市のフルーツやマラサダがおいしかったこと、カハラ地区の豪邸の広さにびっくりしたこと、バーベキューをたくさんしたこと、全部私の思い出です。内容の濃い研修旅行で、たくさんの思い出ができました。来年も参加できるのなら、参加したいです。楽しくて貴重な経験をありがとうございました。

学生 C

私にとっては初めての海外旅行でもあったハワイ研修だったのですが、行ってみたいいろいろ考え方が変わったし、さまざまな刺激を受けることができ自分なりに成長した気がします。

ハワイについての当日は同じ1年生というだけであまり喋ったことがない人たちと同じ部屋だし、楽しめるのかなと不安になったりしていましたが、みんないい人たちばかりでぐに仲良くなれました。

コンドミニウムについてから日本のホテルと全然違ってすごく広いし、それに食器洗浄機が最初からついていてすごく便利なことに感動しました。生ごみを処理する機械も備わっていました。

その夜にスーパーに行った時は、まず広さに驚いたのと、1つ1つの食品の大きさにも驚きました。アメリカンサイズという言葉は聞いたことがあったけれど、自分の想像していた大きさよりも実際はもっと大きかったです。また、日本食が普通に売られているのにも驚きました。お米とかも1キロの袋に入っているものも売っていて、やっぱりハワイには日本人が多いのかなと思いました。

2日目は、スクールバスに乗ってアワビの養殖見学に行きました。まずスクールバスが映画やイラストに描かれているようなかわいいバスで嬉しかったです。

アワビの養殖見学では、働いている人たちは本当にアワビが好きでここで働いているということが伝わってきました。そういう風に何かを好きになってそれを仕事にしている従業員のみなさんはすごいと思うし、羨ましいと思いました。私は自分が何を好きなのかとかまだよくわかってないから、そういう風に好きなことが仕事って格好いいと思いました。

UCC農園では、コーヒー焙煎の体験やコーヒー豆の収穫をして、初めて、こういう風にコーヒーができてあがるということを知りました。1つ1つ手で摘まなければいけないのだから時間も手間もかかります。これからはもっとコーヒーを飲むときは味わって飲もうと思いました。こういう風にいろんな方々を通して私のもとにコーヒー豆が届くと思うと、大変有り難く思えます。

ホテルの方のお話もよかったです。たくさん仕事をされた方で、それでも仕事が何度も見つけられているということは、どこの企業に行っても欲しい人材なのかなと思い、私もそういった風に希望されるような人材になりたいと思います。

星を見に行った時は肉眼で天の川を見ることができ、とても嬉しかったです。あと、流れ星も見ることができて嬉しかったです。

3日目はハワイのビーチに行きました。ハワイの海はとても綺麗で感動しました。けれど日本の海の水よりも塩からかったです。その日はその後もコンドミニアムで過ごしました。鳥たちが寄ってきてかわいかったです。

4日目の溶岩ツアーでは残念ながら流れるところは見えなかったですが、ペレという女神の存在やペレの涙といわれるものや髪の毛と言われるものを実際見ることができてよかったです。特に髪の毛は本当に人間の髪の毛みたいでした。

5日目のハワイ大学の人たちの交流会は、一緒にグループになった人が英語しか話せなかったので、すごく疲れました。それと同時に、もっと英語を話せるようになりたいと思いました。

6日目の豪邸見学では案内人の方が70代だったと思うのですが、すごく素敵で私もあんな風に年を重ねていきたいと思いました。お家もとても素敵で、しかもプールが付いていたことに驚きましたが、高くて買えないと思いました。

不動産の方の話はとてもためになりました。やはり成功する人は努力のレベルが全然違うと思いました。そして私もこれから頑張ろうと思えました。WantとNeedに分類するというのは簡単なことだし、誰にでもできることなので私も使っていこうと思います。

東本願寺の別院では外国人のお坊さんがいて少し驚きました。そこで聖典を貰ったのですが、その中の煩惱についての話で、「古井戸があってそこへ藤蔓をつたって降りようとすると、下で毒蛇が口を開けて待っていて、仕方なく藤蔓を頼りにしていると、2匹の鼠がその藤蔓を噛んでいて、落ちて餌食になってしまいそうなきに蜂の巣から蜂蜜のしずくが口の中に入ってきてその人は自分の危ない立場を忘れてうっとりとなる。」というたとえ話がありました。毒蛇は欲のもとになる己の身体のこと、古井戸の藤蔓とは人の命のこと、2匹の鼠とは歳月を示していて、蜂蜜のしずくとは眼前の欲の楽しさのたとえです。今まで私は眼前の蜂蜜にばかりに目を向けていたなということを改めて思いました。これからはもう少し先のことまで考えて行動しようと思いました。後期の授業を頑張ることから始めていきたいと思います。

この8日間を通して自分の考え方が変わったと思います。努力なんてしたくないし、今が楽しければいいと思っていた部分もあったし、やりたいことしかやりたくなかったけれど、これからは前よりは努力して自分自身を高めていきたいと思うようになりました。

もし、来年またハワイ研修があるようなら是非参加してまた自分を成長させたいです。この8日間が本当に楽しい研修だったので、参加していない人にも来年参加してもらえたらいいなと思います。

2. 5 伝統文化の講演, こころの講演

本学の建学の精神に基づき、独自の短期大学士力養成教育の一環として、以下のような「伝統文化の講演」「こころの講演」を実施した。

(1) 伝統文化の講演

「市川猿三郎の歌舞伎講座」(添付資料 2-5-1 参照)

日時：平成 22 年 5 月 31 日 (月) 10 時 30 分～12 時

場所：本学 4-121 教室

講師：市川猿三郎氏

内容：歌舞伎における表現のいろいろ

参加人数：約 180 名

「七夕によせて」(添付資料 2-5-2 参照)

日時：7 月 2 日 (金) 16 時 10 分～17 時 40 分

場所：本学徳風館 6 階小講堂

内容：・「むむのこ」による公演

・たんざくに願いをこめて

参加人数：約 170 名

(2) こころの講演

「楽しい非電化のすすめ」(添付資料 2-5-3 参照)

日時：平成 21 年 12 月 3 日 (金) 16 時 10 分～17 時 40 分

場所：本学徳風館 6 階小講堂

講師：藤村靖之氏 (発明家・工学博士、日本非電化工房代表、日本大学客員教授)

内容：電気を使わずに豊かに暮らす方法について、国内外での取り組みの紹介

参加人数：約 70 人

「女性のためのいのちと性の講座」(添付資料 2-5-4 参照)

日時：平成 23 年 1 月 14 日 (金) 16 時 10 分～17 時 40 分

場所：本学徳風館 6 階小講堂

講師：広瀬玲子氏 (産婦人科専門医、漢方専門医)

内容：産む性としての女性のからだについて

参加人数：約 100 名

市川猿三郎の歌舞伎講座

日時： 5月31日（月） 2講時

場所： 1-203 教室



【市川猿三郎さんプロフィール】

- 立役・女方。子役から舞台経験が長いだけに実力があり、舞台ぶりも落ち着いている。二枚目から和事もでき、娘役や女房まで芸の幅が広い。
- 昭和27年生まれ。父は六代目嵐冠十郎。32年11月、五歳で宝塚大劇場〈新芸座公演〉『無法松の一生』の吉岡少年で初舞台。41年10月帝国劇場の柿落し公演にも出演。56年父・嵐冠十郎に入門し、嵐延夫の名で関西歌舞伎に籍を置く。平成元年7月から市川猿之助門下となり市川延夫と改名。10年7月歌舞伎座で名題昇進。20年3月新橋演舞場『ヤマトタケル』より二代目市川猿三郎を名のる。

七夕によせて

日 時 7月2日(金) 16:10~17:40

場 所 徳風館 6F 小講堂 (入場無料・一般来聴歓迎)

講演内容 (1)「むむのこ」の講演鑑賞
(2)「星に願いを！」短冊に願いごとを



むむのこって？

1999年に人形劇サークル「シアター・むむの子」として結成され、2002年に「むむの子」と改名し、劇団として旗揚げ。保育園や小学校、児童館などを中心に巡回公演を行う。2004年に特定非営利活動法人「むむの子」となる。元保育士、元介護福祉士、ナレーター、イラストレーターなど様々な分野で活動していた女性13名で構成されている。「むむのこ」の「むむ」は「夢夢」であり、禅でいうところの「無かつ無」でもある。無かつ無...夢中で好きなことに向かって進む、それが悟りに一番近い道だとか。

活動の内容は、人形劇、影絵、光る影絵などの楽しいプログラムで、保育園・幼稚園や小学校、児童館、福祉施設、地域活動の場などへ出張公演や、劇作り支援なども行っている。

楽しい非電化のすすめ

講師：藤村 靖之 氏

(発明家・工学博士、非電化工房代表、日本大学客員教授)

非電化について

20世紀はまさに「電気文明」の世紀だった。電気を利用することで人々の生活は格段に快適・便利になった。ただし少し快適・便利になり過ぎたのかもしれない。しかし、私たちは必要以上に快適・便利を求めて電気を使っているのではないだろうか。電気エネルギーに限らないが、地球規模でエネルギー資源の枯渇あるいは温暖化が叫ばれるなか、何か違う選択肢が必要なのではないだろうか。しかし、その選択肢が「貧しい昔に戻る」のではなく、「新しい豊かさを実現する」ものでなくては面白くない。

そこで新しい豊かさを実現できる非電化製品を発明してみたくなった。冷房、冷蔵庫、掃除機、洗濯機、照明、除湿機……といった一連の非電化製品を2000年春から何年か掛かりで実現してみた。電化製品には敵わないが、ほどほどの快適・便利でゆるされるなら、非電化でも実現できるということが確かめられた。

ナイジェリアやセネガル、ジンバブエ等のアフリカの国でも非電化プロジェクトが進行している。「非電化」は少なからぬ人に勇気を与えられるかもしれない。



非電化冷蔵庫



非電化除湿機



非電化掃除機

日時：12月3日(金) 16:10~17:40

場所：徳風館 6F 小講堂

主催：短期大学部 ライフデザイン学科・こども保育学科

女性のためのいのちと性の講座

講師：広瀬 玲子 先生

(産婦人科専門医・漢方専門医)



プロフィール

昭和63年 京都府立医科大学医学部ご卒業。

岐阜県内にて産婦人科医として勤務した後

女性のための心身の健康のための相談及び治療に従事。

本学へは開学科2年目より「いのちを考える」担当の非常勤講師としてご勤務

日時：1月14日(金) 16:10 ~ 17:40

場所：徳風館 6F 小講堂



2. 6 「自己の探究」プログラム

(1) 目的

個人ワークやグループワークを通して自己を見つめなおし、友人関係を深め、生きる力をはぐくむことを目的としている。

(2) 日程・講師・参加人数

①こども保育学科

実施日：11月12日，13日 8時50分～17時

講師：ラーニングバリュー

参加人数：こども保育学科1年生42名

②ライフデザイン学科

実施日：1月26日，27日 8時50分～17時

講師：ラーニングバリュー

参加人数：ライフデザイン学科1年生14名

(3) プログラム

1日目

オリエンテーションの後、以下の実習が2日間にわたって実施された。

実習名	実習形態
あなたの学習スタイル	個人ワーク
グループ作り・自己紹介	グループワーク
記者会見	個人ワーク・グループワーク
総当たりインタビュー	個人ワーク・グループワーク
コンセンサスを求めて	個人ワーク・グループワーク

2日目

実習名	実習形態
価値のランキング	グループ討議
私のライフポジション (I'm OK, You're OK)	個人ワーク・グループワーク
私を活かすコミュニケーション	グループワーク
バスは待ってくれない	グループワーク
イメージ交換 (プレゼントカード)	個人ワーク・グループワーク
私の得たこと、学んだこと	個人ワーク・グループワーク

(4) 参加者の感想

①こども保育学科

(ア) 実施直後

受講者に「この授業に満足しましたか？」というアンケートを実施した。その結果50%の学生が「とても満足した」と、42.1%の学生が「満足した」と、7.9%の学生が「どちらともいえない」と答えており、満足度が高いものとなった。

以下は学生の受講に対するフリーコメントである。大半が肯定的な意見であった。

- ・思ったより楽しかった。充実していたし、勉強になった。
- ・最初はだるいし、眠いし、帰りたと思ったが、やってみるとだんだん楽しくて新しいことがいっぱい発見できたので貴重な体験ができたと思っている。
- ・最初はとてもつまらなそうだと思ったけれど楽しかったです。これを機会に話せるようになった人も増えたとし、たくさんの人と話せた。
- ・自分の性格と特性がなかなか合っていてびっくりした。
- ・想像以上に得るものがあった。楽しかった。
- ・仲が深まった気がします。
- ・はじめはめんどくさいと思っていたけど、だんだん楽しめていたし、夢中になっている自分がいた。とても楽しく学んだ2日間でした。
- ・普段考えないことを考えられてよかったです。新鮮でした。
- ・普段の授業ではなかなか学ぶことのない貴重な時間だと感じました。やっぱり人に認められることは嬉しいことだと思いました！
- ・みんなと話すことができてよかったです。
- ・みんなの事をまだ知らないこともたくさんあったので、もっとみんなの個性を知って戯れて楽しく過ごしたい。
- ・もう少し余裕をもって計画して欲しい。でも、楽しかった。また、したいです。
- ・私は目を見て話すのが苦手なんですけど、目を見てしゃべらなくてはいけない状況がたくさんありました。でも、そのおかげで目を見る大切さを知れました。
- ・長時間に渡っての授業でとても大変だったけど、得たものはたくさんあったように感じました。
- ・この授業は大変だったし、疲れたけれど、少しは自分と相手のことが理解できていいと思いました。
- ・自分のことが知れてよかったです。思っていた通りになりましたが、数の低い所がもっと伸ばせたらいいなと思います。
- ・楽しくて、いっぱい笑った。
- ・とても充実していた。
- ・人の事を見るようになった。
- ・普段することがないことができたのでいい体験になりました。

- ・めんどくさいと思っていたが、周りへの違い、価値観などが知れたので人間って面白いと思った。
- ・発言するって疲れますね。
- ・普段あまりしゃべらない人と一緒に何かをしたり話すことは辛かったです。精神的にも体力的にもやられました。普段あまり使わない神経をつかったり、気を使ったりしないといけないし。

(イ) 3ヶ月後

受講生に、『自己の探求』を受け、各自が決意表明をしていましたが、それを実行していますか。また、あの体験以後何か変化がありましたか。」という質問をした。

【実行についてのコメント】

- ・自分なりに頑張っているけれど、もう少し頑張れたかなと思うこともあります。
- ・終わった数日間はそれを意識していたが、だんだんと実行しなくなっていった。ちゃんと物事を続けられないのは私の悪いくせだと思い、反省をした。口だけというのは今年こそ卒業したいと思う。
- ・やっていませんが、自分を深めるならピアノを頑張りたいということです。ピアノのテストでは本気でだめだったし、やる気を全く出せずに終わっていったので、来年は頑張りたいなと思います。
- ・ネガティブな考え方で悲観的ということが分かり、ポジティブになろうと決意しました。でも実際に行ってみるとやはり難しく、どのようにしたら良いのか分からないので、「出来る！大丈夫！」と自分に言い聞かせるようにしています。今年はずっと何事にも前向きに考えていける人になりたいなと思います。
- ・実行していません。
- ・「授業に集中して取り組む」を実行しようと心がけていたけれど、取り組めない日もあった。しかしこの体験を通して、意識をしていたので、少しは気持ち的にも変わったと思う。
- ・実行しようと心がけています。
- ・毎日楽しく過ごしていくということを実行し、今とても学校が楽しくなりました。休みの日でも早く学校に行き皆とは話したいと思うことが増えました。また、テスト期間中でも、皆で情報交換したり、励まし合ったり、皆がいてくれるから頑張れる面も増えました。これから、実習なども増えて大変な事が多くなるけど、皆で支え合って楽しく過ごしていきたいです。
- ・少しずつ実行しています。自分が気がついていない部分に気づけるいい機会だったと思います。
- ・実行できていると思います。受講して、友達ともっともっと仲良くなれました。最後の手紙では、「もっと自分の意見を言ってもいいんじゃない」と書いてくれていたの

を見て、もっと自分を出していいんだと思えるようになり、今となってはあの授業を受けて本当に良かったと思っています。これからも明るく前向きに笑顔でいきたいと思います。

- ・「笑顔でいる」を決意しました。辛い時でも笑顔でいれば、いい事があるのではないかなと思い、その決意をしました。今でも笑顔でいることは常に心がけています。これから実習、ピアノ、勉強といろいろな事があり、くじけそうになることもたくさんあると思います。けれど乗り越えないといけないことなので、笑顔で頑張っていきたいと思います。みんな笑顔になればいいなあと思います。
- ・自分のことだけではなく、周りの人のことを考え、そしてもっとみんなから頼られる人になりたいと思いました。自分自身周りの人のことを考えるようになったと思います。皆から頼られることは嬉しいと感じます。

【変化についてのコメント】

- ・特に変化は感じませんが、あの授業を受けて、周りから自分がどんな印象を持たれていたのかわかりました。あと半分の学生生活は決意表明を実行できた！と言えるようにしたいと思っています。
- ・普段全く話さなかった子たちと以前より話すようになった。席が近くなったりすると話すようになったし、共通の会話などができて嬉しいと思った。自分では知らない自分を教えてもらい、少しポジティブになれた。いい体験をしたと思う。
- ・自分を見直すことができたので、自分への理解が深まったと思います。
- ・私自身に変化はないと思いますが、同じグループになった人と話す機会が以前より増えたように思います。自分の事を知り、友達の事を知ることで、どんな考えをしているのか分かり、相性の良さあしが分かりました。
- ・さまざまな授業で発表やグループワークが多いので、少しずつそのような活動に慣れ、自分の意見を伝える事ができるようになってきたと思います。気持ち的にも目標があると意識するので変わろうと頑張れます。
- ・あの時周囲の人から「もう少し自己主張したらいい」と言われたので、その点だけは常に注意しているつもりです。私自身も自分に自信を持てきれず、発言などしないことをどうにかしたいと思っていたので、とてもいい機会になりました。あれから言うべきところはなるべく言うようになりました。今後自分の意見が大切になってくるので、さらに自信が持てるように努力していきたいと思います。
- ・できるだけ頑張って考えを前向きにし、人とのコミュニケーションを少しずつ増やしています。でも、まだ人とのコミュニケーションは苦手です。でも保育士になるにあたって人とのコミュニケーションが苦手とは言ってられないので、できたら就職までに克服したいです。
- ・普段あまり関わることのない友達といっぱい話せて関わって、自分のそれまで持って

いた印象と違ったところがあって、それを知ったことでいろんな子と関わりたいと感じたし、結構関わっている。

- ・ 友達の良い所をたくさん見れるよう意識できるようになったし、友達のありがたみがわかった。みんなの考え方や価値観の違いがわかったので、意見を受け入れるようにしています。
- ・ 仲の良かった人とはもっと仲良くなり、仲が深まったと感じました。あまり話したことのない子とも仲良くなり、皆で協力できるようになりました。
- ・ 自分はどういう人間なのか、どこを伸ばしていき、どこを良くしていけばいいのかわかり、プラスに考えて努力できるようになったと思います。
- ・ 人と目を合わせて発言するのは他人から見たらまだまだできていないかもしれないけれど、私は頑張ろうとしています。私はあの体験後、人は見かけによらないと思いました。この人は怖そうだから話しかけにくいと思っていました。でも、あの体験でたくさんの人と関わって、人に話しかける勇気がつきました。
- ・ クラスの人と少し話せるようになるかなと思ったけど、騒がしい人は苦手なので実のところあまり変わっていないかもしれない。とりあえずは実行中ですので、卒業時までお待ちください。人間革命頑張中です。

②ライフデザイン学科

受講者に「この授業に満足しましたか？」というアンケートを実施した。その結果 90%の学生が「とても満足した」または「満足した」と答えており、満足度が高いものとなった。実施が1月下旬であったため、3ヶ月後のデータは取れていない。

以下は学生の受講に対するフリーコメントである。大半が肯定的な意見であった。

- ・ 最初はとても不安でした。人と話たりするのが苦手なので。でも2日間を通して、少しずつ自分に自信が持てたと思っています。とても楽しかったです。
- ・ 頭を使ったり緊張したりですごく疲れました。けれど参加して良かった！と思えたし、すごく楽しかったです。これからは積極的に話していけたらいいと思います。
- ・ この授業を受けて、こんなに人と意見をかわして、一つの答えにまとめようと思ったことがないです。これからは積極的に話していけたらいいと思います。
- ・ 初めに簡単な自己紹介があるといいかな・・・名前が分からない人がいたから。
- ・ 皆と一つの問題について考えるということはすごく大切なことだということに気付きました。他の人ばかりに頼らず、自分の意見を言うことも大切だということに気付きました。
- ・ 授業が固いイメージだったので、すごくアットホームに感じてびっくりした。
- ・ 自由にやらせるのはとてもいいことだと思うけど、他のこととかいっぱいやりたかったので、時間をちゃんと区切ってやったほうが、もっとやりやすくなると思います。

2. 7 キャリアマインド喚起プログラム, 各種資格・就職対策講座

本年度、以下に示すキャリアマインド喚起プログラム, 各種資格・就職対策講座を実施した。それぞれのプログラムの実施結果を表 2-7 に示す。

表 2-7 キャリアマインド喚起プログラム, 各種資格・就職対策講座 実施結果

	プログラム名	実施/開催日	講師	参加者数
(1)	自己発見レポート	4月に実施 結果説明会 5/21 16:10-17:40	ベネッセ	L 137名 T <u>46名</u> 183名
(2)	ビジネスマナー講習会	10/12 10/19, 26 11/2, 9, 16, 30 12/7, 14, 21 全10回 16:10-17:40	LEC 東京 リーガルマインド	L 1年 4名 2年 1名 T <u>1年 2名</u> 計 7名
(3)	話しことば検定対策講座	10/16 (土) 10/23 (土) 全2回 10:30-16:10	日本話しことば 協会	L 21名
(4)	筆記試験対策講座	10/6, 13, 20, 27 11/10, 17, 24 12/1, 8 全9回 16:10-19:25	早稲田セミナー	L 2名
(5)	就職写真支援講座	第1回 7/23 14:30-17:40 第2回 9/22 12:50-16:00	写真スタジオ DANKE	第1回 L7名 第2回 <u>L3名</u> 計 10名

注:

- ・Lは、ライフデザイン学科の略である。
- ・Tは、こども保育学科の略である。

各プログラムの目的、内容、結果は、下記の通りである。

(1) 自己発見レポート

① 目的

- ・ 学生が、入学した時点で、自分の能力、進路意識、強み、興味関心分野などについての自己理解を通じて、大学生活を有意義に過ごすための目標や学びへの動機、卒業後の進路を考える機会を提供する。

② 内容

- ・ 以下の6つの観点で構成される。

1. 進路に対する意識

自分の持ち味や得意分野を把握しているか、職業や働くことについての知識やイメージを持っているか、学ぶことの意味を理解しているかなど、進路や学びへの意識の状況を診断している。

2. 性格の傾向

性格の特徴を「内向－外向」「行動－熟慮」「堅固－柔軟」の3つの軸から診断している。

3. 問題解決のスタイル

問題や課題に直面した場合、どのようなスタイルで解決に取り組んでいくのかを診断している。

4. 基礎学力

基礎学力について、「英語運用」「日本語理解力」「判断推理力」の3つの分野から診断している。

5. 社会的強み

社会で求められる行動や考え方について、「自己コントロール力」「対人関係力」「社会的な態度」の3つの分野、18項目を診断している。

6. 職業への興味

10種類の職業分野ごとの興味・関心の度合いを診断している。

③ 結果

受検者数は、ライフデザイン学科 137名、こども保育学科 46名、計183名。

ベネッセ社の講師による「自己発見レポート」個人結果の見方についての説明会を開催した。学生個人の結果報告をもとに、それぞれの学生が自分の強みや特徴を理解し、充実した短大生活を送るために、今後の学生生活の目標設定、行動計画の立て方について説明を行った。

(2) ビジネスマナー講習会

① 目的

- ・ 社会に出てから、人間関係やビジネスを円滑に進めていくために知っておかなければならないことはもちろん、就職活動にもすぐに役立つビジネス上のマナーを、ロールプレイや教育ゲームで、頭と身体を通じて学ぶ。

② 内容

回	開催日	内 容
1	10月12日	挨拶と話し方 ①
2	10月19日	挨拶と話し方 ②
3	10月26日	電話・通信の方法 ①
4	11月2日	電話・通信の方法 ②
5	11月9日	訪問の方法 ①
6	11月16日	訪問の方法 ②
7	11月30日	来客の対応 ①
8	12月7日	来客の対応 ②
9	12月14日	上手に聴く・効果的に話す ①
10	12月21日	上手に聴く・効果的に話す ②

③ 結果

- ・ 参加者アンケートによると、参加者の全員が、プログラム内容が「大変役に立った」「役に立った」と回答していた。
- ・ アンケートの自由記述欄には以下のようなコメントが記載されていた。
 - 「楽しく学べた。」
 - 「すごく面白いし、大切なことも覚えられた。」
 - 「就職活動にもバイトにもいろいろ役立つと思いました。今後役立つように頑張ります。」
 - 「上手に聴いて効果的に話すことを練習して社会に出ます。」
- ・ 学生のコメントから考察すると、ロールプレイや教育ゲームなどを通して、楽しく、面白く学ぶことができ、そこで学んだ知識をすぐに役立てることができる実践的な内容が肯定的に評価されたようである。

(3) 話しことば検定対策講座

①目的

- ・コミュニケーションに欠かせない「話す」「聞く」を基礎から学び、「話しことば検定」の3級合格を目指す。
- ・敬語の基本から応用まで、自信を持って話せるようトレーニングする。
- ・発声法などを実際に体験しながら、よりよい音声表現を学んで、限られた時間に、効率よくはっきりと話して相手にわかってもらう自信をつけ、就職面接に備える。

②内容

回	開催日	項目	内容
1	10月16日 (土)	話しことばについて 豊かな表現	話しことばと書きことば 話す・聞く 慣用句・ことわざ・四字熟語
		音声表現	発声と発音 ポーズ・イントネーション
		話しことばの実際	あいさつ、自己紹介 電話応対、クッションことば
2	10月23日 (土)	敬語の基本	敬語の必要性、敬語の種類
		敬語トレーニング	第三者についての敬語 間違いやすい例、口頭練習
		模擬テスト	筆記テスト・リスニングテスト 解説

③結果

- ・昨年度は、受講生が9名だったが、本年度は21名と増加した。
- ・学生は、「話しことば検定」の勉強を通して、コミュニケーション能力を高めることができるので、就職活動に備えることばかりでなく、日常生活においても活かせると好評だった。
- ・ライフデザイン学科の学生21名が本講座を受講し、そのうちの17名が本年度の「話しことば検定試験」3級を受験した。15名が合格し、合格率88%であった。

(4) 筆記試験対策講座

① 目的

- ・就職試験に備えて、筆記試験の問題演習を繰り返し解くことで解法パターンを習得して正答率のアップを目指す。

② 内容

回	開催日	内容
1	10月6日	一般知能（判断推理）
2	10月13日	一般知能（判断推理）
3	10月20日	一般知能（判断推理）
4	10月27日	一般知能（数的推理）
5	11月10日	一般知能（数的推理）
6	11月17日	一般知能（数的推理）
7	11月24日	一般知能（資料解釈）
8	12月1日	文章理解
9	12月8日	論作文

③ 結果

- ・四年制大学と一緒に実施しているが、短期大学部からの参加者は2名と少なかった。
- ・本講座の参加者が少なかった原因としては、キャリア支援センター主催の「就職ガイダンス」においても「SPI 対策」のプログラムを実施されているため、そちらのプログラムの方に参加する学生が多かったことがあげられる。

(5) 就職写真支援講座

① 目的

- ・就職活動に際して、ふさわしい化粧の仕方やどのような写真が好印象を持ってもらえるかを実践的に学んで就職活動に活かす。

② 内容

回	開催日	内容
1	7月23日 14:30-17:40	「就職写真に備えてのヘアメイク・メーキャップ」 実践ヘアメイク講座

2	9月22日 12:50-16:00	「就職写真の撮影について」 第一印象をアップさせる写真講座
---	----------------------	----------------------------------

③ 結果

- ・参加者アンケートによると、参加者全員が、講座内容について「大変役に立った」と回答していた。講座への満足度が高かった
- ・アンケートの自由記述欄には以下のようなコメントが記載されていた。
「楽しい講座でした。参加してよかったです。」
「講座のはじめに、自分の顔のかたちや個性に合ったメイクの仕方を教えてもらえて良かったです。」
「たくさんの質問をさせてもらって、いい時間でした。」
「就職活動に向けて、前向きに行ける気がしました。」
「少人数だったので、一人ひとり詳しく見ていただけてよかった。」
「いろいろと指導してもらえて、お得な講座だと思った。」
- ・楽しく実践的な内容で、また、参加人数が少なかったため、マンツーマンの指導を受けることができ、参加者の講座への満足は高かったようである。

2. 8 社会人基礎力診断

本取組では、平成 21 年度と平成 22 年度の 2 年間、学生の社会人基礎力を診断するためのツールとして株式会社ディスコの ES プログラム (Employability Skills Program) を実施した。

(1) ES プログラムの概要

① 診断項目

ES プログラムでは、表 2-8-1 に示す通り、社会人基礎力の 3 つの能力「前に踏み出す力 (アクション)」「考え抜く力 (シンキング)」「チームで働く力 (チームワーク)」と 12 の能力要素、及び 11 の職業適性について診断が可能である。

表 2-8-1 社会人基礎力の能力要素と職業適性

能力	能力要素 (定義)
前に踏み出す力 (アクション)	主体性 (物事に進んで取り組む力)
	働きかけ力 (他人に働きかけ巻き込む力)
	実行力 (目的を設定し確実に行動する力)
考え抜く力 (シンキング)	課題発見力 (現状を分析し目的や課題を明らかにする力)
	計画力 (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力)
	創造力 (新しい価値を生み出す力)
チームで働く力 (チームワーク)	発信力 (自分の意見をわかりやすく伝える力)
	傾聴力 (相手の意見を丁寧に聴く力)
	柔軟性 (意見の違いや立場の違いを理解する力)
	状況把握力 (自分と周囲の人々と物事との関係性を理解する力)
	規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)
	ストレスコントロール力 (ストレスの発生源に対応する力)

職業適性
営業・販売関連、企画・マーケティング関連、事務・管理関連、クリエイティブ関連、IT・ソフトウェア関連、製造関連、研究・開発関連、建築・土木設計関連、フィットネス関連、接客・サービス関連、コンサルタント関連

② 実施方式

質問は 100 問。質問シートの各質問を読んで、「全くその通り」から「全く違う」までの 5 段階でマークシートに記入していく方式である。本診断の回答に要する時間は、15 分から 20 分間である。

(2) 実施状況

①実施対象

短期大学部 1 年生・2 年生を対象に実施した。

受診者総数は、平成 21 年度 288 名、平成 22 年度 261 名。

②実施手順

・資材の納入 ～10 月末

質問シート・回答シート・ガイドブックをライフデザイン学科、こども保育学科の各学科共同研究室に人数分届けた。

・実施・回収 11 月～

各学科に実施方法を一任した。必修授業のなかで、教室での一斉実施、及び、学生の自宅での個別実施も可とした。

・提出締切 ～11 月中旬

教室での一斉実施、個別実施とも、回答シートは各学科の共同研究室を提出窓口にしてまとめた。

・ディスコ社への回答シートの返送

両学科全学年の学生の回答シートをまとめてディスコ社へ返送した。

・結果の学生への返却 12 月上旬～

ディスコ社からデータで納品された結果を印刷して各学科の共同研究室に各学生への結果の返却を依頼した。

(3) 実施結果

①受診者数

ESプログラムの平成21年度、平成22年度における学科・学年別の受診者数を表2-8-2に示す。

表2-8-2 ESプログラムの学科・学年別受診者数

	平成21年度	平成22年度
ライフデザイン学科 1年	109	89
ライフデザイン学科 2年	86	91
こども保育学科 1年	40	44
こども保育学科 2年	53	37
計	288名	261名

②受診結果

ES プログラムは、全国平均との比較、及び、平成 21 年度と平成 22 年度の比較により、本取組の効果の検証が可能であった。詳しい数値等の結果は省略するが、平成 21 年度と平成 22 年度の数値比較した結果に有意な差は見られなかった。

2. 9 こども保育学科の就職先訪問調査

(1) 目的

こども保育学科の主な就職先である幼稚園・保育所（保育園）を訪問し、求めている人物像、本学の卒業生の状況、その他の要望などをヒヤリング調査して、その結果をこども保育学科実習・就職支援室での指導に反映させることを目的とした。

(2) 訪問先

本年度は、以下の京都市内に立地する幼稚園・保育園（保育所）を中心に訪問した。

保育所/保育園（2月8日）	幼稚園（2月9日）
上賀茂保育園（北区）	とうりん幼稚園（北区）
鷹ヶ峰保育園（北区）	衣笠幼稚園（北区）
上総幼児園（北区）	さかの幼稚園（右京区）
西陣和楽園（上京区）	太秦幼稚園（右京区）
わかば園（上京区）	くろたに幼稚園（左京区）
円町まぶね隣保園（中京区）	永観堂幼稚園（左京区）
朱七保育所（中京区）	洛北せいか幼稚園（左京区）
花園保育園（右京区）	吉田幼稚園（左京区）
岩倉こひつじ保育園（左京区）	アソカ幼稚園（下京区）
大谷保育園（下京区）	ときわ幼稚園（下京区）
こぐま上野保育園（西京区）	くるみ幼稚園（南区）
伏見幼児園（伏見区）	さくら幼稚園（西京区）
かがやき保育園（伏見区）	山科幼稚園（山科区）
端山保育園（伏見区）	其枝幼稚園（山科区）
稲荷保育園（伏見区）	石田幼稚園（伏見区）
東野保育園（山科区）	かもがわ幼稚園（伏見区）
大宅保育園（山科区）	ふじのき幼稚園（伏見区）
17ヶ園	17ヶ園

(3) 訪問を通して明らかになった点

- ・ 求める人物像では、元気で明るく体力のある人、養護と教育を理解している人、運動が出来る人、コミュニケーション能力のある人、保育の専門知識がある人であった。
- ・ 保育所では、待機児童対策から、新たに分園を設置しているところが多くみられた。
- ・ 求人票に対する応答のない大学、短期大学が多い中、丁寧な対応をしていることを評価してくださる園が多かった。

2.10 こども保育学科卒業生の体験録

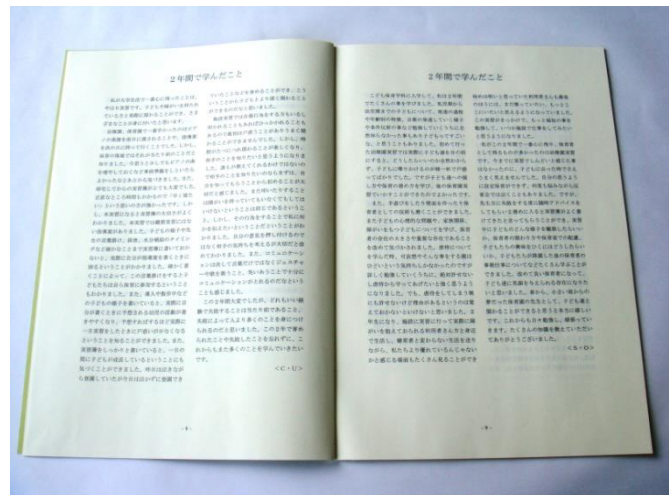
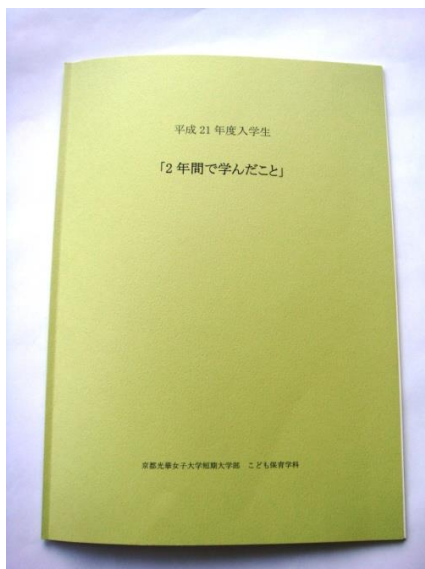
(1) 目的

こども保育学科の学生は2年間で幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の2つを取得し、保育者になることを夢見て入学してくる。多くの学生は「子どもが好きだから」という理由で保育の道を選んだものの、授業や実習の厳しさに夢をあきらめかける学生も多い。しかし、その厳しさを乗り越え夢をかなえることができた学生の姿は輝いている。

本体験録は、執筆した学生にとっては2年間の貴重な成長記録となる。また、入学したての学生や、実習を控えた学生にとっては、先輩たちの体験録から、卒業時に自己実現を図るためのイメージを作り、あらゆる試練に耐えられるようになることに役立つ。

(2) 結果

「2年間で学んだこと」というタイトルで平成21年4月入学生が、こども保育学科での2年間の体験について執筆し、A5版50ページ程度の冊子となった(下記写真を参照)。学生たちは、2年間で振り返り、文章化することによって、自分たちの成長を実感できたようである。執筆した学生には、卒業式の日はこの冊子を配布した。また、新2年生、新1年生には4月に配布予定である。



2. 11 キャリアアドバイザーとの面談・求人開拓

本年度、「新卒者等に対する相談支援の強化」「大学におけるキャリアカウンセラーの倍増等」への補助金の追加配分が行われた。本学では、この補助金を受け、下記の通り、短期大学部ライフデザイン学科の学生を対象に就職相談の実施、求人開拓を実施した。実施にあたっては、ANA 総合研究所にキャリアアドバイザーの派遣を依頼した。

(1) ライフデザイン学科 2 年生を対象にしたキャリアアドバイザーによる面談の実施

① 期間 平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月

② 手順

(ア)学生に本取組について案内する (添付資料 2-11-1 参照)

(イ)短期大学部 2 年生で就職未決定者全員の面談スケジュールを設定

(ウ)設定した面談スケジュールをキャリアアドバイザーに通知

(エ)キャリアアドバイザーから学生に面談の前日に案内メールを送信

(オ)面談の実施

(カ)面談継続者については、次回スケジュールを設定

(キ)面談結果を学内システムに登録、ログを管理

(ク)面談欠席者に、即日メール・電話にて面談再設定の通知をする

③ 面談方法

(ア)面談時間 (15 分) + 登録・準備作業 (5 分)

(イ)面談に際して、学生にアンケート票を渡し、記入を依頼

(ウ)アンケート票への記載内容をもとに、面談を実施

(エ)面談学生の就職活動状況、就職の意思と取り組み状況を確認する

(オ)面談時の学生の話し方等の印象についてキャリアアドバイザーがカードにコメントを書く

(カ)面談終了時に学生にキャリアアドバイザーが書いたコメントカードを渡す

④ 面談実施実績

面談対象者数	99
来室者数	62
欠席者数	32
キャンセル者数	5
2 回目以降面談利用者数	11

⑤ 欠席者への対応

面談欠席者へは、再設定予約依頼のメールを送った後、電話連絡をして来室を促した。

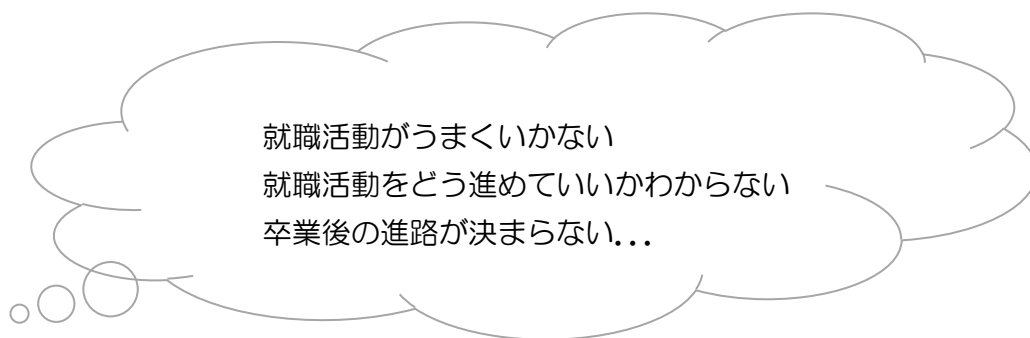
添付資料 2-11-1 キャリアアドバイザーとの面談（2年生対象）

ライフデザイン学科 就職未内定者の皆さんへ

平成22年度 学生支援推進プログラム

キャリアカウンセラーとの個人面談について

就職活動、進路選択について、キャリアカウンセラーが個別に相談に乗ります。原則、すべての未内定者の皆さんが対象となります。割り当てられた日時に、下記の面談場所に来てください。



不安や悩みを、一人だけで抱え込まずに、キャリアカウンセラーに相談してください。「相談」という言葉を聞くと、つい構えてしまうかもしれませんが、「話をする」くらいの気楽な気持ちで来てください。

場 所：4号館2F 226号室

面談日時：ライフデザイン特論の時間に提示されます

相談時間：1人15分間

1回目の相談が終わった後も、継続して相談が受けられます。
就職活動に、進路相談に、積極的に活用してください。



京都光華女子大学短期大学部

キャリア教育推進特別委員

(2) ライフデザイン学科 1 年生を対象にしたキャリアアドバイザーによる面談の実施

① 期間 平成 23 年 1 月～3 月

② 手順

2 年生を対象にした面談と同じ (学生への案内については添付資料 2-11-2 参照)

③ 面談方法

2 年生を対象にした面談と同じ

④ 面談実施実績

面談対象者数	139
来室者数	108
欠席者数	16
面談未通知者	15

⑤ 欠席者への対応

面談欠席者へは、再設定予約依頼のメールを送った後、電話連絡をして来室を促した。

(3) キャリアアドバイザーによる求人開拓

① 目的

厳しい雇用状況の影響を受け、学生の就職内定状況は、当初想定していた以上に悪化した。そこで、補助金を活かして、出身地へのリターン就職を希望する学生の就職先を開拓するために、京阪神地区のみならず、全国に立地する企業を訪問して求人開拓を積極的に行った。

② 訪問先

地域	訪問企業数
北海道	北海道 1
首都圏	東京 24
	千葉 2
東海	愛知 3
阪神	大阪 7
	兵庫 5
北陸	鳥取 3
	富山 4
	石川 4
中国	岡山 5
	山口 5
四国	愛媛 5
	香川 4
九州	福岡 3
	佐賀 1
	長崎 1

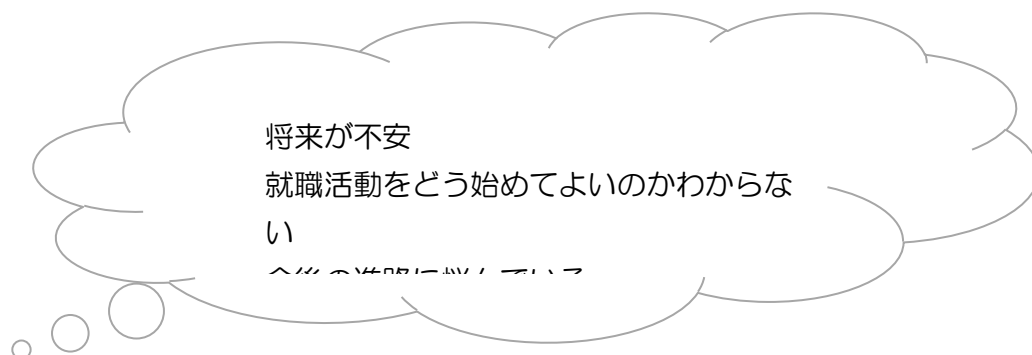
添付資料 2-11-2 キャリアアドバイザーとの面談（1年生対象）

ライフデザイン学科 1年生の皆さんへ

平成 22 年度 学生支援推進プログラム

キャリアアドバイザーとの個人面談について

自分の将来について考えるうえで、まず、話してみるの大事なことです。キャリアアドバイザーが、1対1で皆さんの話を聴き、これからの進路選択や就職についての悩み・疑問を解決する手助けを行います。原則、1年生の皆さん全てが対象となります。割り当てられた日時に、下記の面談場所に来てください。



悩む前にまず、話してみましよう。
キャリアアドバイザーが意見を押しつけることはありません。
安心して気楽な気持ちで来てください。

場 所：4号館2F 226号室

面談日時：各自に提示されます。

相談時間：1人15分間

1回目の面談が終わった後も、継続して相談が受けられます。
幅広く今後の進路を考えるうえで、積極的に活用してください。



京都光華女子大学短期大学部

2. 1 2 合同報告会

2011年3月5日13:00～17:30に本学徳風館小講堂にて、「支援力が短大のちから」をテーマにして、平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】「学生／就職支援推進プログラム」関西地区の短期大学採択校による合同報告会を開催した。本報告会は聖泉大学短期大学部、滋賀短期大学、京都光華女子大学短期大学部、京都西山短期大学、大阪音楽大学短期大学部の5短期大学の共同主催であり、参加者は164名であった。

各校の取組みの概要や成果、課題点を報告した。また、比治山大学短期大学部湯地宏樹准教授に「説得力のある教育改革」と題し、同短期大学での取組事例について講演いただいた。

合同報告会開催の経緯・意義

合同報告会は、2010年2月1日の日本学生支援機構主催の近畿地区の意見交換会で本学が「来年のGP報告会を合同でやりませんか」と呼びかけたことにはじまり、その呼びかけに、滋賀の聖泉大学短期大学部、滋賀短期大学、京都の京都西山短期大学、大阪の大阪音楽大学短期大学部の4短期大学が応えてくれたことで実現した。

合同報告会は主催校にとって、相乗効果による集客力のアップという実務上のメリットはもちろんある。それ以外に、単に自校の報告をするだけとは違い、開催日の前後で主催校同士意見交換をすることによりお互いに刺激を受けあう効果大きい。

さらに参加者にとっても、一度に複数の短期大学の報告を聞けるのだから大変貴重な機会になった。

合同報告会の具体的内容

学士力あるいは社会人基礎力の育成の具体化が模索されている現在、短期大学も実学重視の伝統の上に胡坐をかいていることはゆるされず、新たな教育改革の展開が求められている。今回、関西の5短期大学の「大学教育・学生支援推進事業」の多様な成果、それらには、地域行政との連携のあり方、就職コーディネータの積極的活用、さまざまなポートフォリオの活用、卒業後の継続的サポートシステムとしての仕事情報館の構築、があるが、これらの成果報告をもとに参加者とともにこれからの大学・短期大学のあるべき姿を考えることができた。今回の報告は短期大学の実践に基づくものだが、大学も短期大学も抱えている課題は共通部分が多いので、四年制大学関係者にも大いに参考になる内容であったと考える。

さらに今回講演をお願いした湯地先生にはこころよく講演を引き受けていただいた。湯地先生が所属される比治山大学短期大学部は平成22年度のいわゆる教育GPに選定され

た短期大学わずか4校のうちの1校であり、参加者全員にとって大変参考になった。

当日のプログラム

当日のプログラムは以下の通りである。

12:30 会場

13:00 開会挨拶 京都光華女子大学短期大学部 学長 一郷 正道

13:10～14:10 講演 平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム選定
「説得力のある教育改革ー比治山大学短期大学部の事例報告」
湯地 宏樹 氏（比治山大学短期大学部 准教授）

[休憩 15分]

14:25～14:50 発表 「地域行政機関等との連携強化による地元密着型就職支援プログラム」
聖泉大学短期大学部 講師 森 雄二郎

14:50～15:15 発表 「『すみれカレッジジョブカフェ』キャリアサポートシステムの構築」
滋賀短期大学 学務課 課長 福地 茂

15:15～15:40 発表 「短期大学士力養成のための具体的実践としてのキャリア教育の推進」
京都光華女子大学短期大学部 教授 相場 浩和

[休憩 15分]

15:55～16:20 発表 「学生支援ポートフォリオ教育システム」
京都西山短期大学 学生支援センター室長 教授 加藤 善朗

16:20～16:45 発表 「『音楽の仕事情報館』構築による学生の音楽仕事力育成と就職支援」
大阪音楽大学短期大学部 准教授 山下 豊

16:50～17:20 質疑応答

17:20 閉会の挨拶 京都光華女子大学短期大学部 学部長 中嶋 哲生

当日の司会 京都光華女子大学短期大学部 教授 森際 孝司

質問への回答

当日は質疑応答の時間も設けたが、アンケートにも質問を書いていた。本学への質問についてはホームページにも回答を掲載するが、ここでも記しておきたい。

【質問 1】

達成感ポートフォリオと就職実践演習の履修カルテとの関係について教えてください。

回答：本学には「就職実践演習の履修カルテ」はありませんが、おそらく「就職実践演習」という科目の中で日々履修の過程を記録するものが「履修カルテ」だと推察します。これに対して、本学の「達成感ポートフォリオ」は、短期大学部で開講されている全ての科目に対して、到達目標の達成度の自己評価を学期末に1回行うための Web 上のツールです。

【質問 2】

キャリア教育を通じてフルモデルチェンジをするという発想に大変興味を持ちました。その観点から、ご講演をされた比治山大学短期大学部の例と比べて特に工夫された点があれば教えてください。また、こども保育の方での週間ポートフォリオ実施状況はいかがですか。

回答：本学の取組に興味をお持ちいただき、誠にありがとうございます。比治山大学短期大学部では、学習によって期待される成果をあらかじめ設定し、その成果を評価して可視化するシステムが構築されており、学生自身の学びの意欲を喚起し、質の高い教育を保証する仕組みがきちんと整備されておられます。本学の取組はその完成度においても緻密さにおいても比治山大学短期大学に比ぶべくもありませんが、湯地先生のご講演をお聞きし、少なくとも方向性は間違っていないと安堵しています。今後とも、キャリア教育を通して、到達目標型教育への転換を実現させていきたいと考えております。

こども保育学科での週間ポートフォリオの実施につきましては、今年度は全面実施には至りませんでした。次年度以降、ライフデザイン学科同様、全面実施していきたいと思っています。

【質問 3】

ポートフォリオの実施に実際に使用しているものを参考にしたいので見せていただきたいのですが。

回答：本報告会の報告資料に画面例を載せていますので、それを参考にいただければと思います。それ以外の画面につきましても、ご連絡のうえお越しいただければ、いつで

もご紹介させていただきます。

【質問 4】

週間ポートフォリオでは携帯電話からアクセス可能ということですが、学生ポートフォリオ全ての機能に対して携帯電話からアクセス可能なのですか。

回答：携帯電話からアクセス可能なのは、週間ポートフォリオに限られます。週間ポートフォリオは毎日の記録を必要とするシステムであるため、いつでも（たとえば通学の電車の中でも）記入できるようにという配慮から、パソコンからの入力以外に携帯電話への対応機能を追加しました。それに対して学期ポートフォリオ、達成感ポートフォリオ、キャリアポートフォリオについては、入力頻度はそれほど高くないのでパソコンからの入力みの構成にしています。

【質問 5】

週間ポートフォリオの投稿率の高さについて教えてください。何かの授業で入力させる時間をとっているのですか、もしくは学生まかせなのですか。

回答：ポートフォリオは、初年次教育のなかにポートフォリオリテラシー教育を組み込み、ライフデザイン学科の1年次前期に開講される必修科目「ライフデザイン総論」の授業計画に沿って、運用していきました。「ライフデザイン総論」の授業のなかで、ポートフォリオシステムへの入力の仕方などについても詳しく説明しています。週間ポートフォリオへの投稿状況を「ライフデザイン総論」の成績に加味することを学生に周知しましたので、それが投稿率の高さに影響していると思います。授業の中で入力する時間はとっておらず、多くの学生は自宅から投稿しています。

【質問 6】

ディプロマポリシーを機軸とした評価について教えてください。

回答：ディプロマポリシーは各学科にとって最も基本的で最も重要な到達目標なので、ディプロマポリシーの各項目の達成度も評価（しかも定量的な評価）をしていこうというものです。各科目の到達目標の達成度をカリキュラムマップを媒介として積み上げることで、これが可能になります。本学ではすでにディプロマポリシーの達成度の学生自己評価は達成感ポートフォリオを用いて実施を始めています。教員の評価によるディプロマポリシー達成度評価が今後の課題です。

【質問 7】

各科目の到達目標の達成度をディプロマポリシーの達成度に積み上げるとき、カリキュラムマップにある、◎、○、△はそれぞれどれくらいのウェイト付けをされたのですか、またその数値はどのようにして決めたのですか。

回答：◎1.3、○1.0、△0.8 とウェイト付けしました。各教員がカリキュラムマップ作成過程で◎、○、△をつけるとき、○1.0 を基準にした場合、◎や△にファクター2 以上の差は想定しなかつただろうと考え、まず、◎1.3、△0.8 と設定しました。次に、これらの数値を多少変えても結果が安定している、すなわち大きな変化がないことを確認できたので、これらの値をそのまま使うこととしました。

【質問 8】

ご発表のあった就職支援に事務職員はどのように関わっておられるのか、教職連携の実情をお聞かせください。

回答：本取組では、教員と職員両方を構成メンバーにした委員会（キャリア教育推進特別委員会）を結成し、その委員会で方針を決め、意思統一を図りながら、教員と職員がともに役割を分担し合い、共同して実施していきました。